

大分の畜産

2024

令和6年度 大分県

目次

I 農業及び畜産の概要	
1 農業の概要	1
2 畜産の概要	3
II 家畜別の動き	
1 肉用牛	4
2 乳用牛	8
3 豚	12
4 採卵鶏	15
5 ブロイラー	17
6 地鶏	19
7 生産費と所得の推移	20
III 飼料	
1 飼料作物作付状況	22
2 配合混合飼料	23
3 放牧取組状況	24
IV 家畜衛生・畜産環境	
1 監視伝染病の発生状況	25
2 環境汚染問題畜種別発生件数	26
資料1 畜産関係団体等一覧	27
資料2 畜産関係機関県組織機構	28
資料3 令和6年 畜産・流通関係の主な出来事	29
資料4 但馬系種雄牛「幸照茂」が現場後代検定(去勢・雌平均)で ローズ芯面積、歩留基準値、BMS No. の3項目歴代1位!	35
資料5 大分の畜産物ブランド	36

『大分の畜産2024』 注意事項

- ・令和7年3月現在の最新の公表数値をもとに算出・掲載しており、第一報や速報値を含みます。
- ・切り捨て・切り上げにより、各項目の構成比の和は100%とならないことがあります。
- ・「R元」表記には、平成31年1月1日～4月30日の期間及び、この期間内に公表されたデータを含みます。

I 農業及び畜産の概要

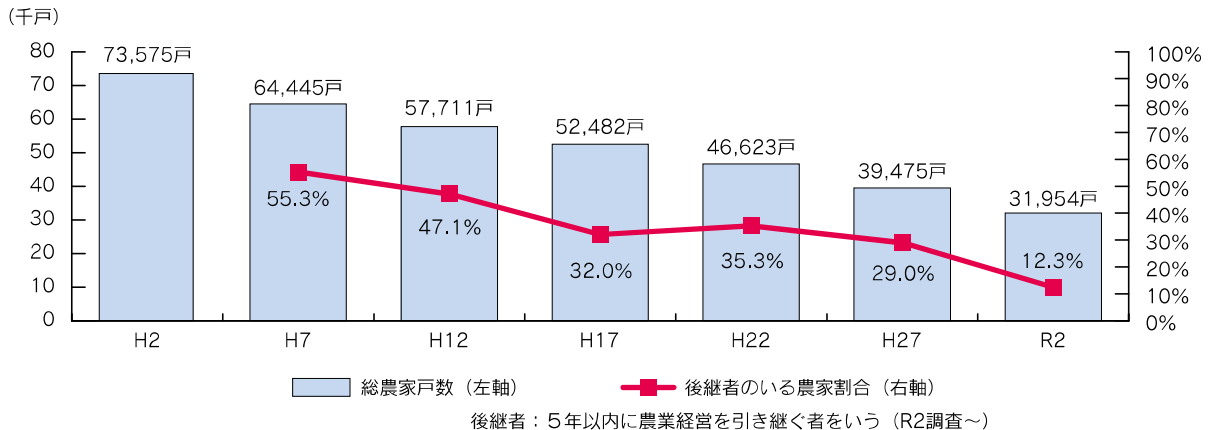
1 農業の概要

(1) 本県農業の位置づけ

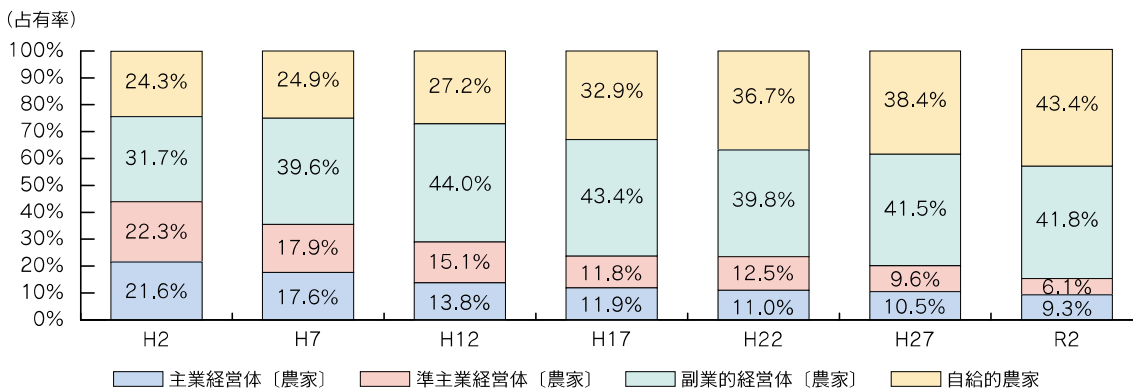
項目	単位	区 分					資料
		大分県	九州	全国	大分/九州(%)	大分/全国(%)	
総農家戸数	戸	31,954	247,411	1,747,079	12.9	1.8	農林水産省「農林業センサス(令和2年)」
販売農家戸数	戸	18,099	156,940	1,027,892	11.5	1.8	
(構成比)	(%)	56.6	63.4	58.8	89.3	96.3	
農業就業人口	人	39,162	358,506	2,493,672	10.9	1.6	農林水産省「生産農業所得統計(令和5年)」
農業産出額	億円	1,342	19,227	95,582	7.0	1.4	
生産農業所得	億円	537	6,952	33,422	7.7	1.6	
生産農業所得÷農業産出額	(%)	40.0	36.2	35.0	110.7	114.4	
農業産出額÷総農家戸数	千円	4,200	7,771	5,471	54.0	76.8	
農業産出額÷販売農家戸数	千円	7,415	12,251	9,299	60.5	79.7	
耕地面積	ha	53,800	502,400	4,272,000	10.7	1.3	農林水産省「耕地及び作付面積統計(令和6年)」
田面積	ha	38,000	293,900	2,319,000	12.9	1.6	
(構成比)	(%)	70.6	58.5	54.3	120.7	130.0	
畑面積	ha	15,800	208,500	1,952,000	7.6	0.8	
(構成比)	(%)	29.4	41.5	45.7	70.8	64.3	
うち牧草地	ha	2,710	11,800	585,900	23.0	0.5	
(構成比)	(%)	5.0	2.3	13.7	217.4	36.5	

(注) 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家。
 農業従事者数：自営農業に従事した世帯数。
 生産農業所得：農業産出額から生産のために投入された物的経費を控除して推計したもの。

(2) 農家戸数の推移(大分県)

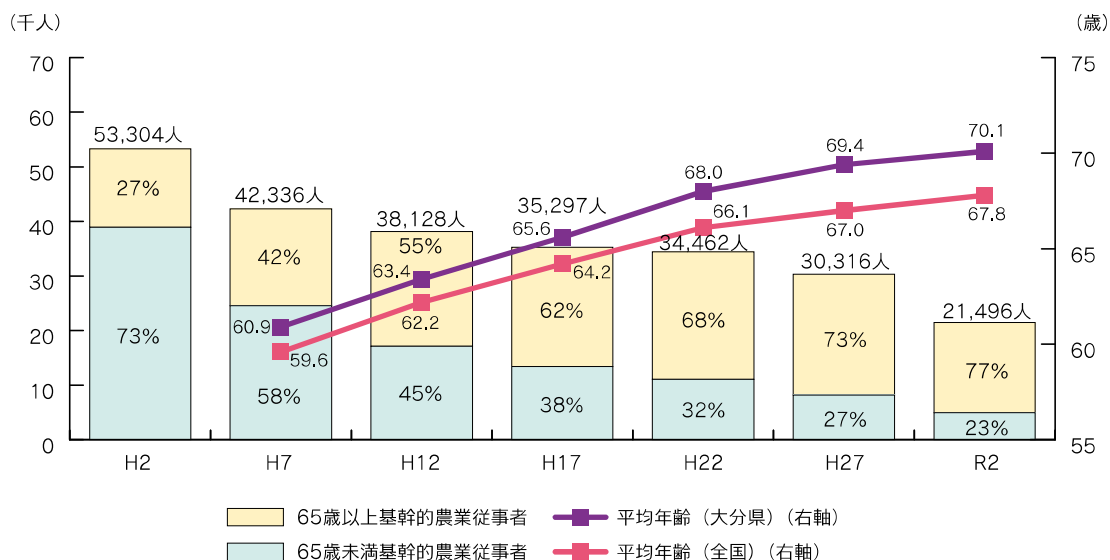


(3) 主業副業農家(経営体)占有率の推移(大分県)



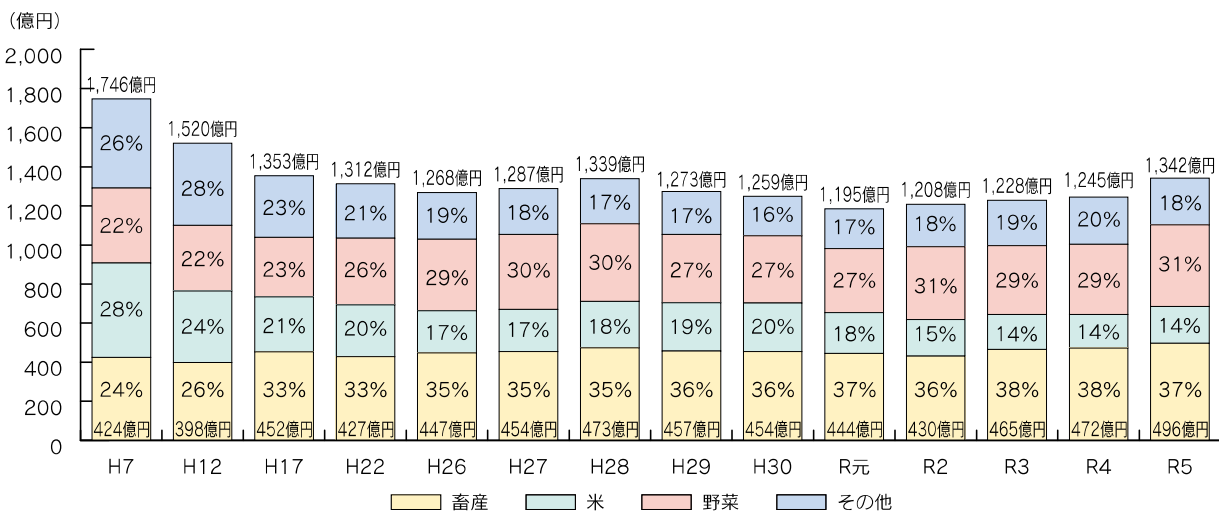
(注) 主業経営体〔農家〕：農業所得が主(世帯〔農家〕所得の50%以上が農業所得)で65歳未満の農業従事60日以上の方がいる個人経営体〔農家〕。
 準主業経営体〔農家〕：農外所得が主(世帯〔農家〕所得の50%未満が農業所得)で65歳未満の農業従事60日以上の方がいる個人経営体〔農家〕。
 副業的経営体〔農家〕：65歳未満の農業従事60日以上の方がいない個人経営体〔農家〕。(主業経営体・準主業経営体以外の農家)
 自給的農家：経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。
 ※〔 〕内はH27年以前の調査における表記

(4) 農業労働力の推移(大分県)



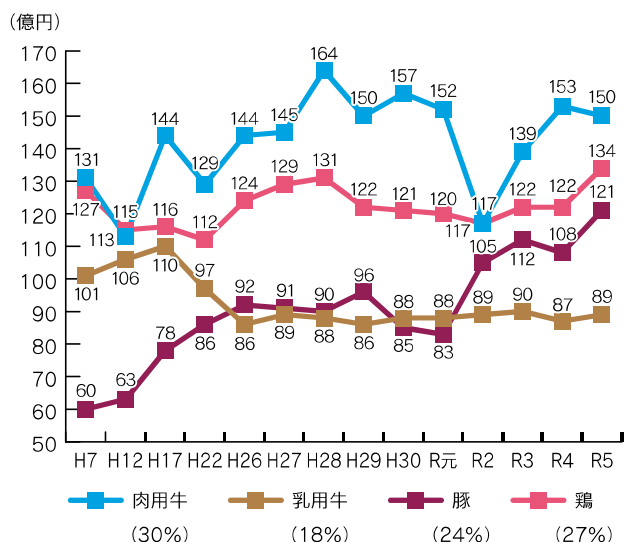
資料：農林水産省「農林業センサス」

(5) 農業産出額(大分県)

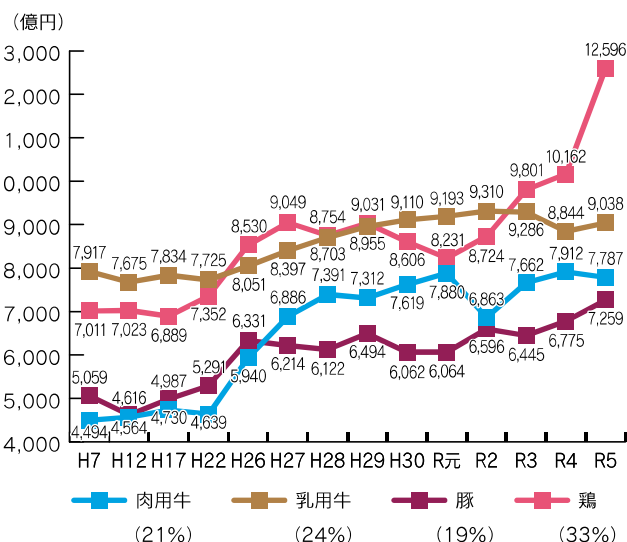


資料：農林水産省「生産農業所得統計」

畜産部門別産出額の推移(大分県)



畜産部門別産出額の推移(全国)



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

(注) () はR5年の畜産部門(肉用牛・乳用牛・豚・鶏・その他畜産物)における構成比

2 畜産の概要

(1) 家畜の飼養戸数・頭羽数(令和6年2月1日)

		大分県		九州			全国		
		実数	対前年比(%)	実数	対前年比(%)	順位	実数	対前年比(%)	順位
肉用牛	戸数	964	96.4	16,000	94.7	5	36,500	94.6	11
	頭数	54,400	103.0	978,200	100.1	5	2,672,000	99.4	13
	頭/戸	56.4	106.9	61.1	105.7	6	73.2	105.2	37
乳用牛	戸数	94	95.9	1,180	95.9	6	11,900	94.4	26
	頭数	12,300	92.5	97,800	95.8	3	1,313,000	96.8	14
	頭/戸	130.9	96.4	82.9	99.8	1	110.3	102.5	4
豚	戸数	37	92.5	945	89.2	6	3,130	92.9	26
	頭数	153,200	102.3	2,753,000	97.7	5	8,798,000	98.2	18
	頭/戸	4,140.5	110.6	2,913.2	109.6	1	2,810.9	105.8	8
採卵鶏	戸数	15	107.1	337	97.7	7	1,700	96.6	34
	千羽	914	95.0	21,842	91.7	6	170,776	99.1	32
	千羽/戸	60.9	88.7	64.8	93.9	3	100.5	102.6	27
ブロイラー	戸数	42	84.0	1,080	98.2	6	2,050	97.6	9
	千羽	1,782	72.8	74,080	100.0	6	144,859	102.4	16
	千羽/戸	42.4	86.7	68.6	101.8	6	70.7	104.9	28

資料：農林水産省「畜産統計」

(2) 農業経営改善計画の営農類型別認定状況(令和5年3月末現在)

		農業経営改善計画認定数					
		単一経営	畜産小計				
			酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他の畜産
全国	219,881	22,227	8,867	8,756	1,795	1,925	884
九州	43,254	6,695	846	4,442	567	767	73
大分	3,796	390	77	251	24	33	5

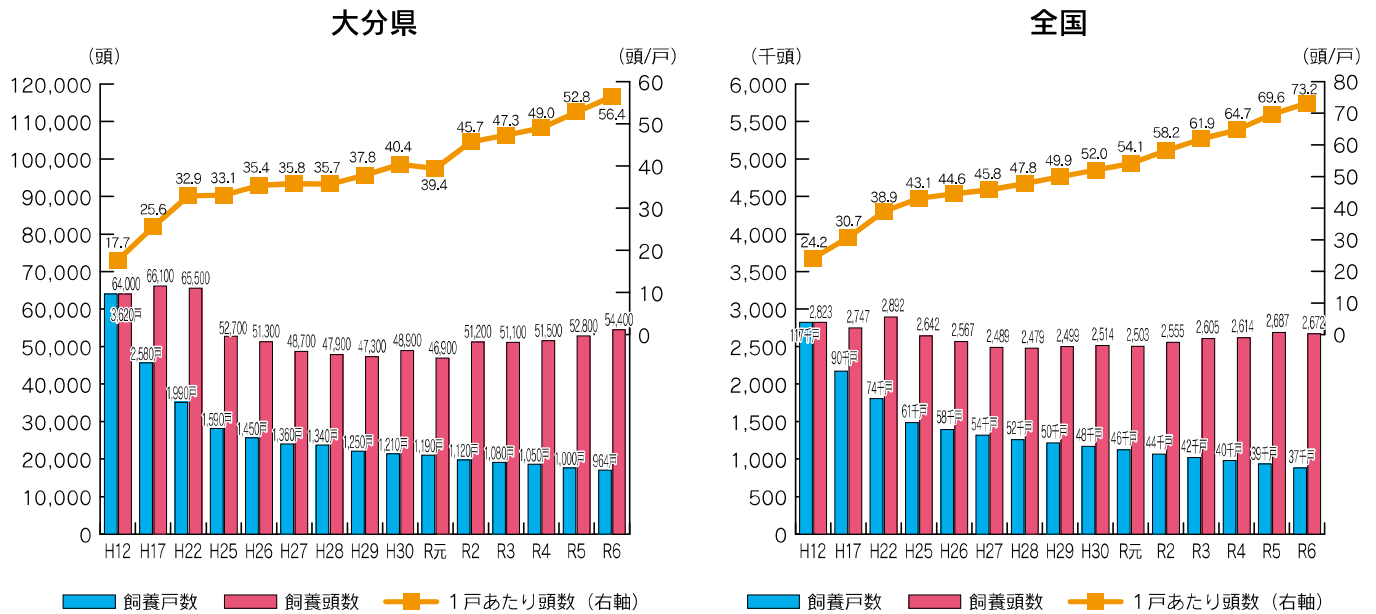
(注)「単一経営」とは、経営体毎の農産物販売金額1位の部門(作目)の販売金額が、農産物総販売金額の80%以上を占める経営をいう

資料：農林水産省「農業経営改善計画の営農類型別認定状況」

II 家畜別の動き

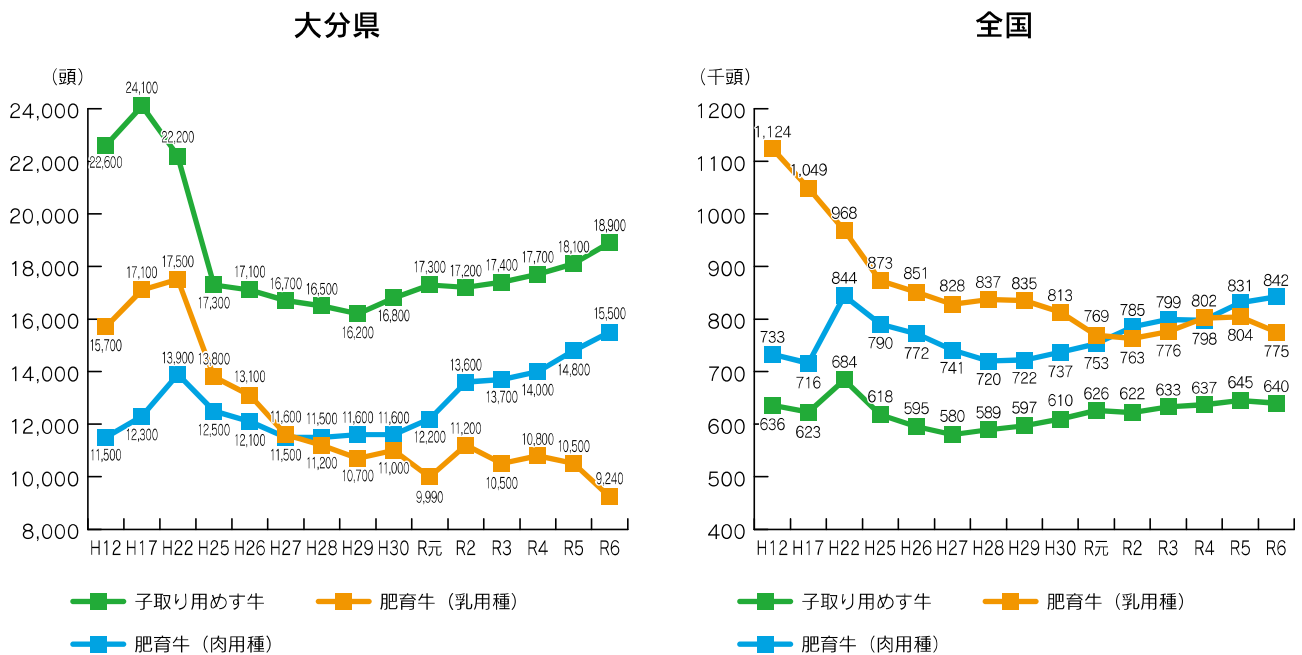
1 肉用牛

(1) 飼養戸数・頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(2) 用途別頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) 子取り用雌牛：子牛の生産を目的として飼養している雌牛（過去に種付けしたことがある牛及び近い将来種付けをすることが確定している牛。）

(注2) 肥育牛：肉牛販売を目的に飼養している牛。したがって、ほ育・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育牛とする。

(3) 規模別飼養戸数の推移

大分県

単位：戸 (%)

H15	1,780 (61)	580 (20)	340 (12)	211 (7)
H17	1,513 (59)	530 (21)	311 (12)	211 (8)
H22	1,083 (54)	378 (19)	288 (14)	236 (12)
H25	784 (50)	323 (20)	251 (16)	221 (14)
H26	738 (51)	254 (18)	253 (18)	197 (14)
H27	664 (49)	248 (18)	253 (19)	191 (14)
H28	653 (49)	244 (18)	249 (19)	186 (14)
H29	615 (49)	194 (16)	242 (19)	195 (16)
H30	571 (47)	227 (19)	237 (20)	171 (14)
R元	562 (47)	223 (19)	233 (20)	167 (14)
R2	491 (44)	208 (19)	237 (21)	187 (17)
R3	434 (40)	203 (19)	237 (22)	201 (19)
R4	412 (39)	192 (18)	240 (23)	201 (19)
R5	385 (39)	187 (19)	227 (23)	204 (20)
R6	361 (37)	171 (18)	224 (23)	208 (22)

10頭未満 10~19頭 20~49頭 50頭以上

全国

単位：戸 (%)

H15	61,000 (62)	16,500 (17)	10,800 (11)	9,550 (10)
H17	55,100 (62)	14,900 (17)	10,110 (11)	8,930 (10)
H22	42,300 (57)	12,400 (17)	10,300 (14)	9,040 (12)
H25	32,800 (54)	10,600 (17)	9,190 (15)	8,310 (14)
H26	31,000 (54)	9,680 (17)	8,280 (14)	8,280 (14)
H27	28,200 (52)	9,610 (18)	8,260 (15)	7,970 (15)
H28	25,400 (49)	9,510 (18)	8,310 (16)	8,370 (16)
H29	23,500 (47)	9,970 (20)	7,880 (16)	8,520 (17)
H30	22,020 (46)	9,480 (20)	8,070 (17)	8,450 (18)
R元	20,520 (45)	9,120 (20)	8,020 (17)	8,340 (18)
R2	19,590 (45)	8,070 (18)	8,030 (18)	8,243 (19)
R3	17,960 (43)	7,760 (18)	8,010 (19)	8,343 (20)
R4	16,850 (42)	7,410 (18)	7,820 (19)	8,293 (21)
R5	15,570 (40)	7,040 (18)	7,690 (20)	8,232 (21)
R6	14,320 (39)	6,640 (18)	7,410 (20)	8,135 (22)

10頭未満 10~19頭 20~49頭 50頭以上

資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(4) 規模別飼養頭数の推移

大分県

単位：頭 (%)

H15	8,460 (13)	8,130 (12)	10,780 (17)	37,930 (58)
H17	7,680 (12)	7,850 (12)	10,360 (16)	39,550 (60)
H22	5,750 (9)	5,580 (9)	8,250 (13)	45,180 (70)
H25	4,060 (8)	4,530 (9)	5,750 (11)	37,740 (73)
H26	4,060 (8)	4,370 (9)	6,010 (12)	36,120 (71)
H27	3,990 (8)	4,410 (9)	5,940 (12)	33,620 (70)
H28	3,910 (8)	4,380 (9)	5,810 (12)	33,440 (70)
H29	2,870 (6)	2,960 (6)	7,400 (16)	33,430 (72)
H30	2,460 (5)	3,350 (7)	5,760 (12)	36,740 (76)
R元	2,850 (6)	3,370 (7)	7,810 (17)	32,240 (70)
R2	2,480 (5)	3,050 (6)	8,360 (16)	37,320 (73)
R3	2,180 (4)	2,970 (6)	8,260 (16)	37,670 (74)
R4	2,030 (4)	2,880 (6)	8,200 (16)	38,370 (75)
R5	2,200 (4)	2,980 (6)	8,130 (15)	39,690 (75)
R6	2,200 (4)	2,770 (6)	8,250 (15)	41,440 (76)

10頭未満 10~19頭 20~49頭 50頭以上

全国

単位：千頭 (%)

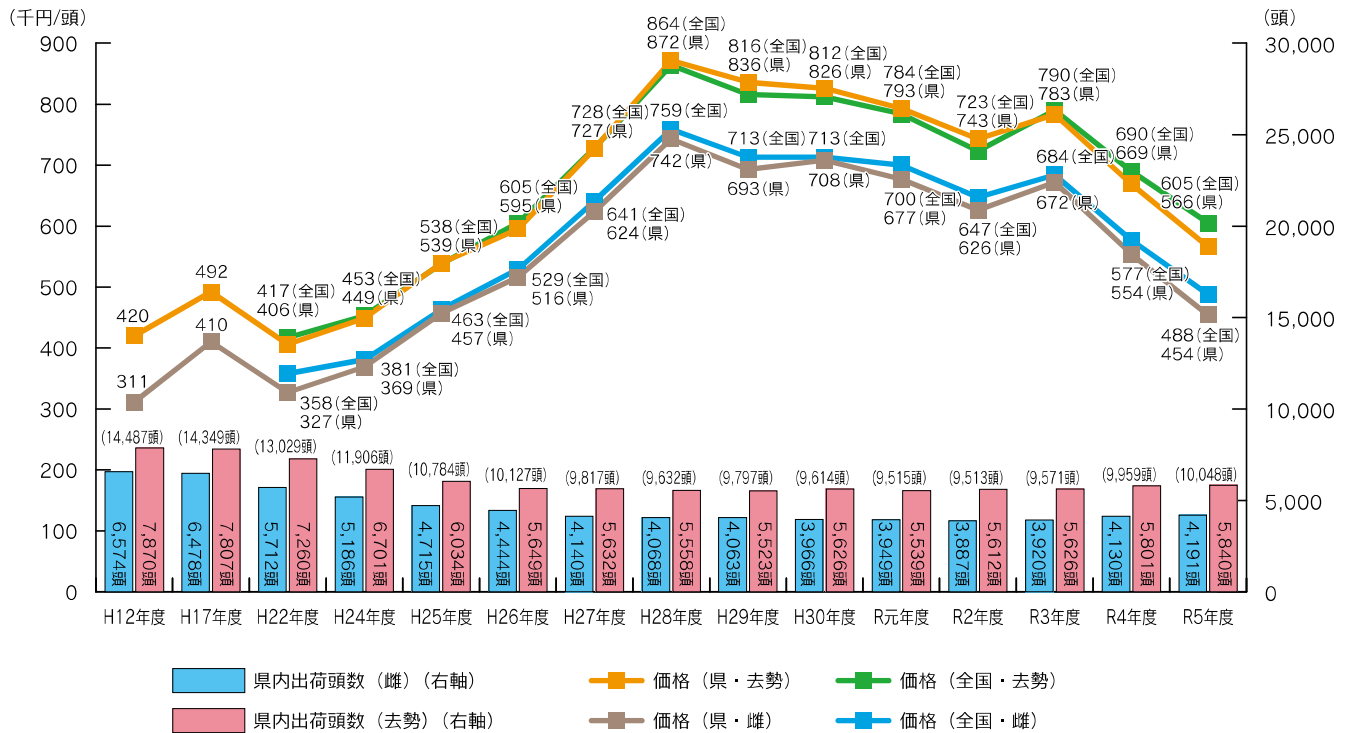
H15	253 (9)	216 (8)	325 (12)	1,971 (71)
H17	247 (9)	218 (8)	324 (12)	1,920 (71)
H22	199 (7)	174 (6)	336 (12)	2,151 (75)
H25	159 (6)	152 (6)	308 (12)	2,000 (76)
H26	146 (6)	141 (6)	276 (11)	1,981 (78)
H27	128 (5)	139 (6)	270 (11)	1,929 (78)
H28	116 (5)	138 (6)	257 (10)	1,945 (79)
H29	107 (4)	137 (6)	252 (10)	1,979 (80)
H30	98 (4)	135 (5)	255 (10)	2,002 (80)
R元	94 (4)	133 (5)	261 (11)	1,990 (80)
R2	92 (4)	117 (5)	263 (10)	2,083 (82)
R3	85 (3)	114 (4)	265 (10)	2,141 (82)
R4	79 (3)	107 (4)	255 (10)	2,173 (83)
R5	75 (3)	108 (4)	259 (10)	2,248 (84)
R6	70 (3)	100 (4)	252 (9)	2,251 (84)

10頭未満 10~19頭 20~49頭 50頭以上

資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

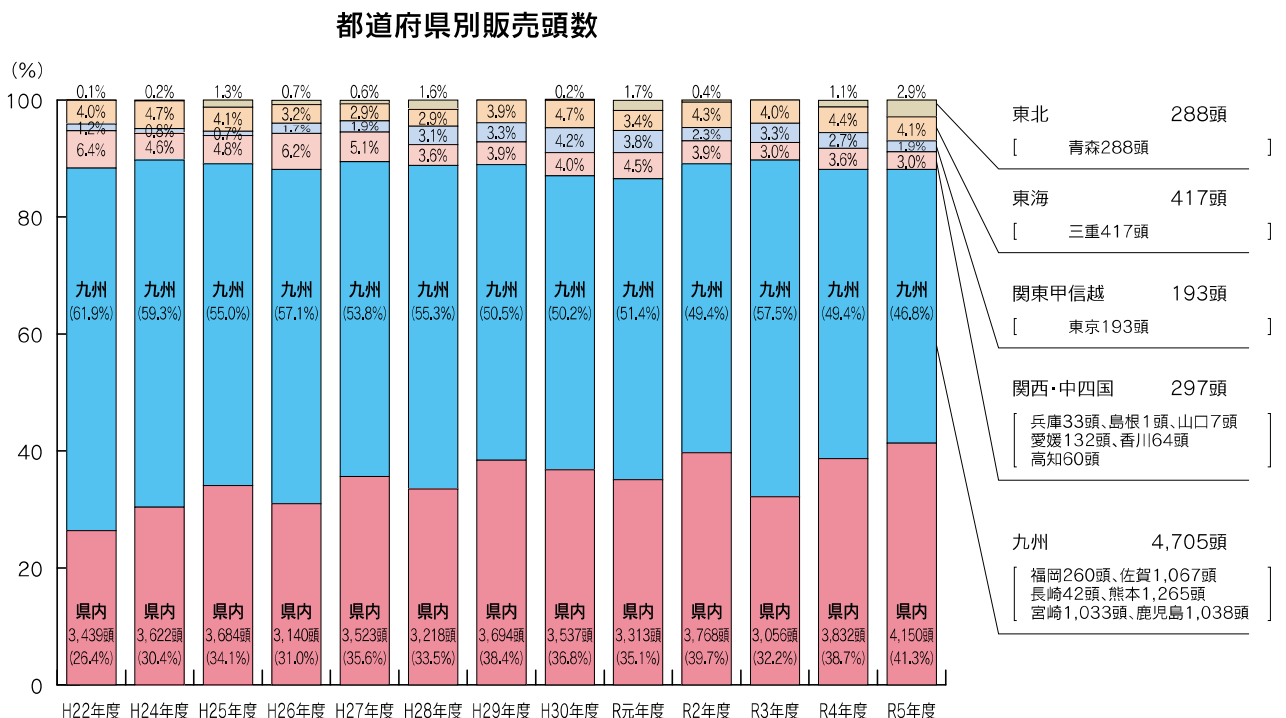
(5) 子牛市場出荷頭数・平均価格の推移



(注1) グラフ内「去勢」頭数には「雄」頭数を含まず、()内出荷合計頭数には「雄」頭数を含まため、合計頭数は一致しない
 (注2) 「大分の畜産2011」以前は「入場頭数」を、「大分の畜産2012」以降は「成立頭数」を「出荷頭数」として計上
 (注3) 再上場による頭数等は含まないため、(6)に示す出荷頭数とは必ずしも一致しない。

資料：全農大分県本部 (県数値)
 (独) 農畜産業振興機構 (全国数値)

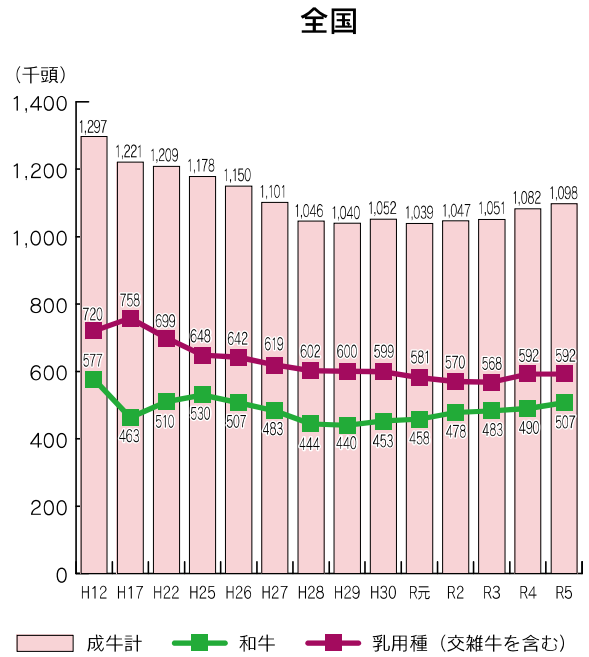
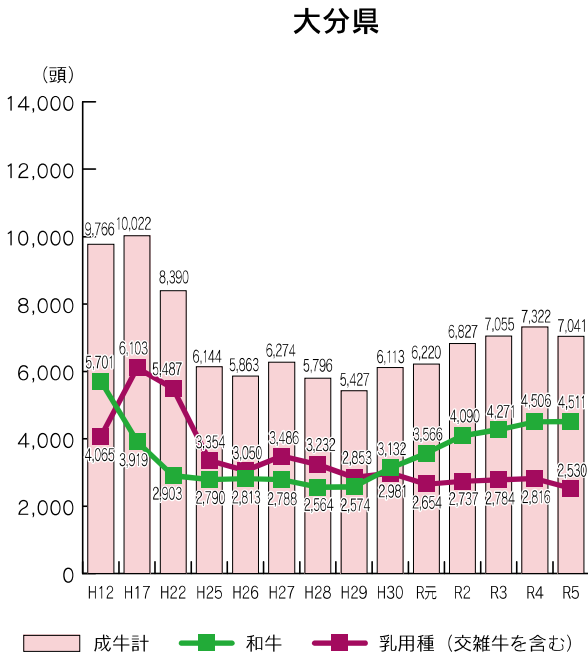
(6) 肉用子牛(黒毛和種)の流通



資料：全農大分県本部

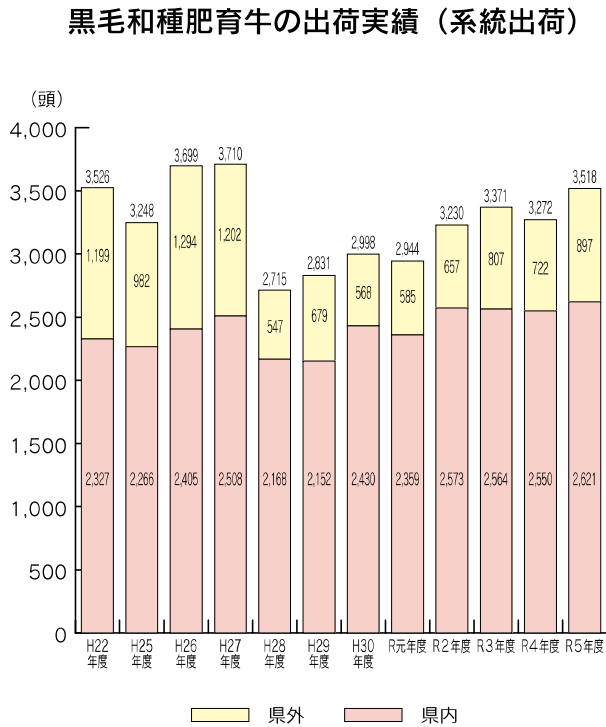
(注1) 再上場による頭数等を含むため、(5)に示す出荷頭数とは必ずしも一致しない
 都道府県別販売頭数は、出荷先業者の営業所を含めている場合もある
 (注2) 各年度の構成比については合計値が必ずしも100%とはならない

(7) 肉用牛県内と畜頭数の推移



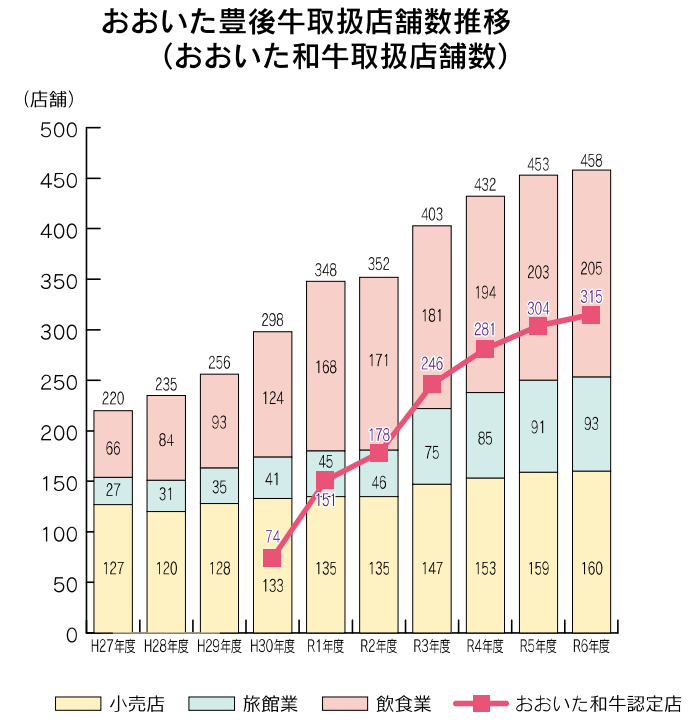
資料：農林水産省「畜産物流通統計」

(8) 県産肉用牛(黒毛和種肥育牛)の流通



資料：全農大分県本部

(9) おおいた豊後牛取扱店舗数推移

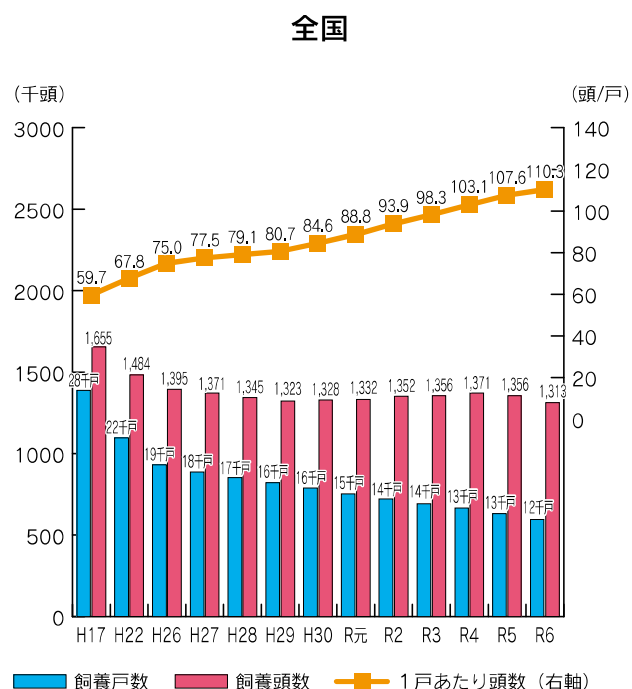
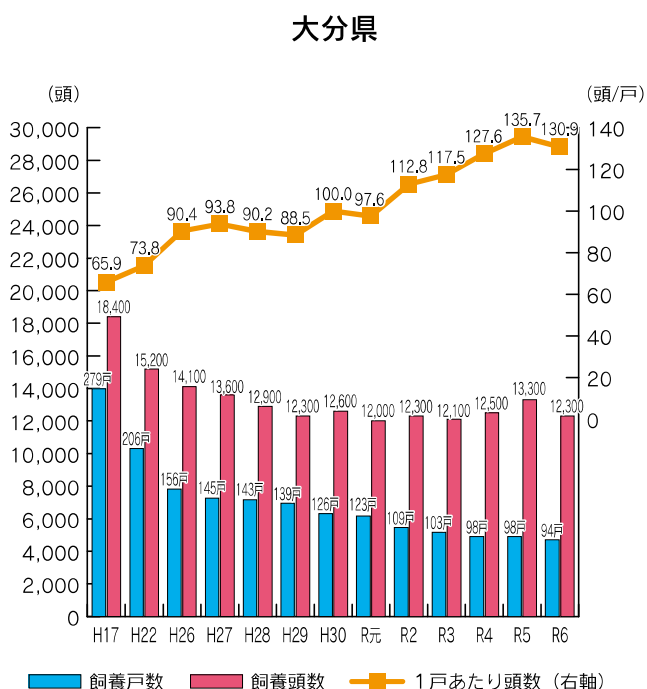


資料：大分県豊後牛流通促進対策協議会

(注) H30年度からは、「おおいた和牛」認定店舗数をカウント。併せておおいた豊後牛取扱店の推移を示す。

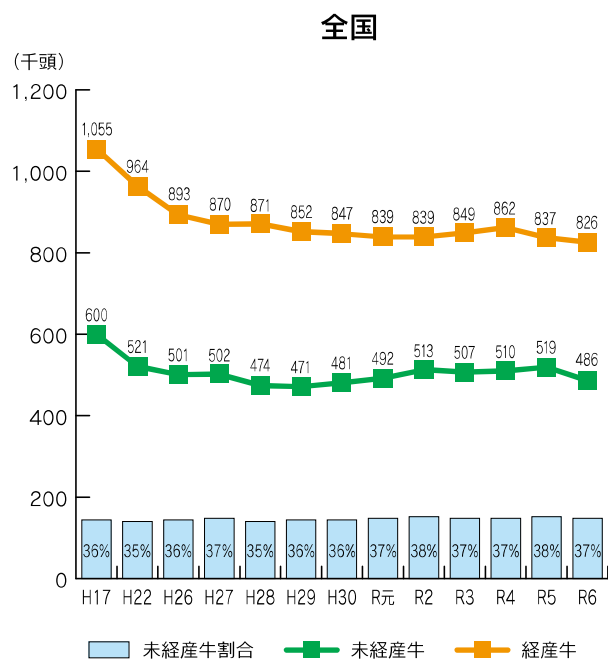
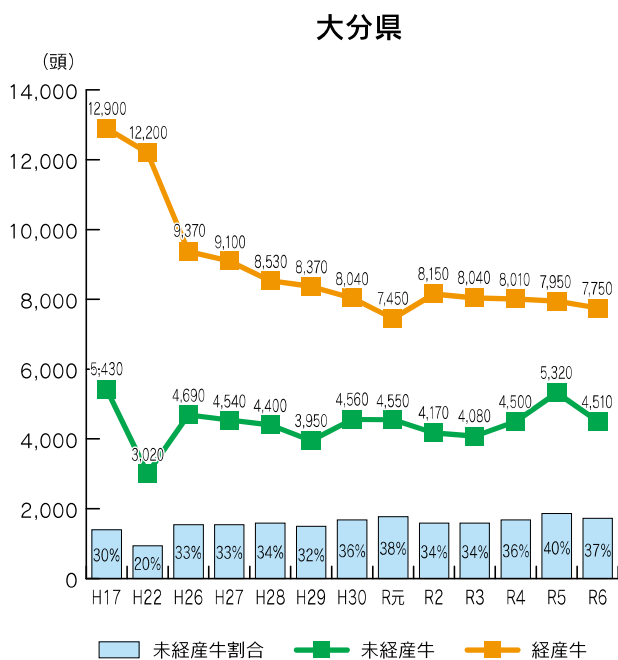
2 乳用牛

(1) 飼養戸数・頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(2) 用途別頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 経産牛：分娩経験のある牛をいい、搾乳牛と乾乳牛とに分けられる
 搾乳牛：経産牛のうち、搾乳中の牛をいう。
 乾乳牛：経産牛のうち、搾乳していない牛をいう。
 未経産牛：出生してから初めて分娩するまでの牛をいう。

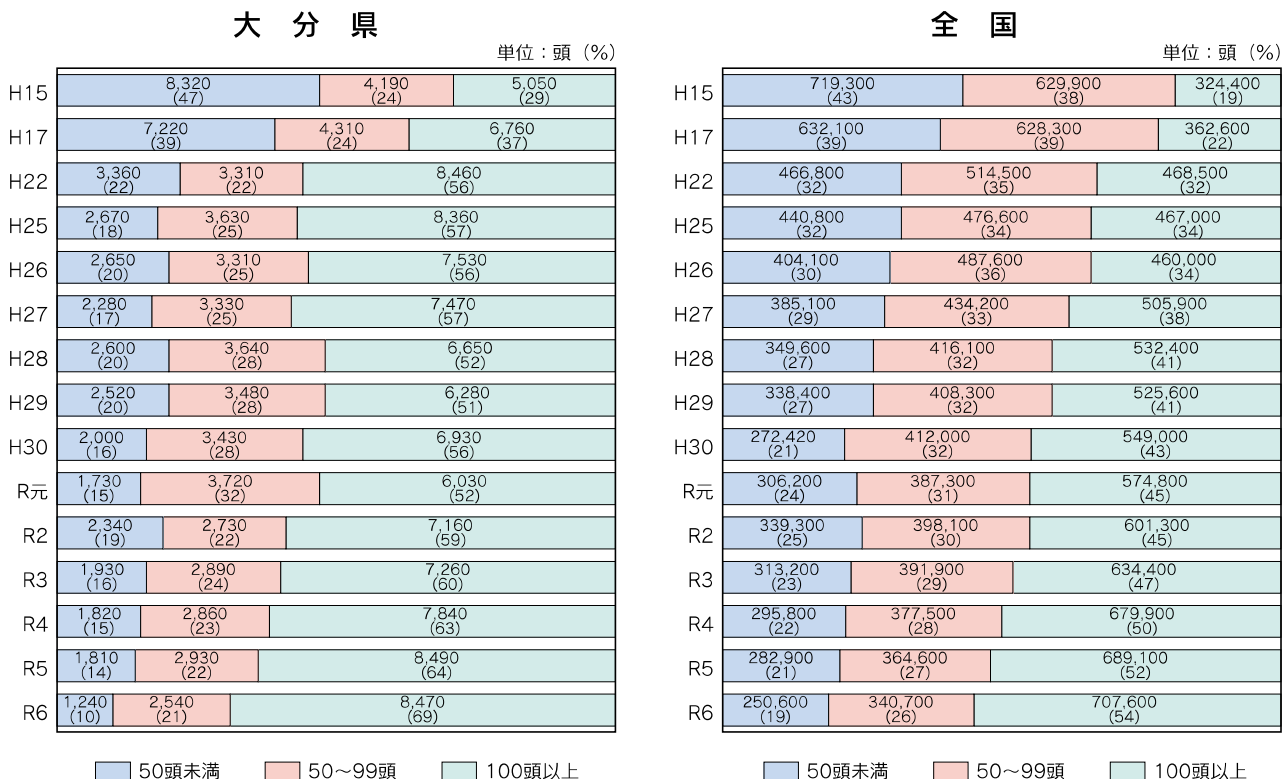
(3) 成畜飼養頭数規模別飼養戸数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(4) 成畜飼養頭数規模別飼養頭数の推移

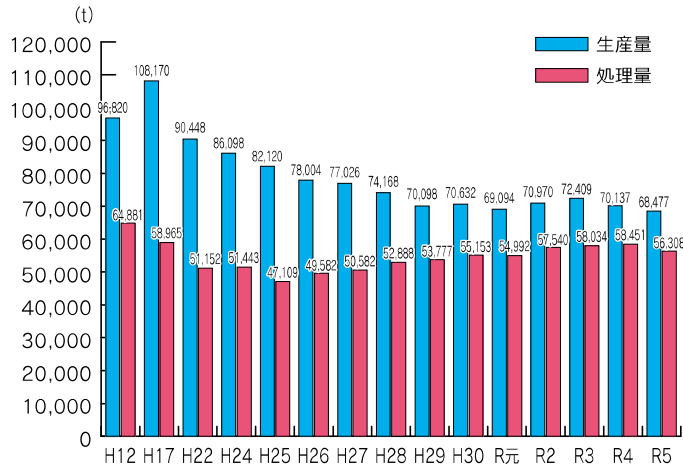


資料：農林水産省「畜産統計」

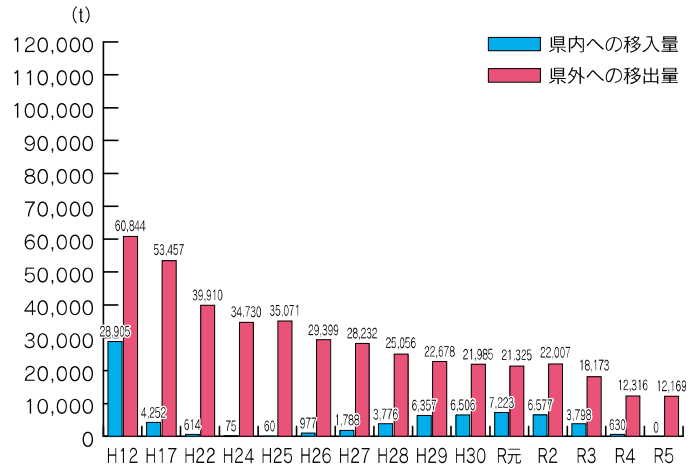
(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(5) 生乳生産量・処理量の推移

大分県の生産量及び処理量の推移



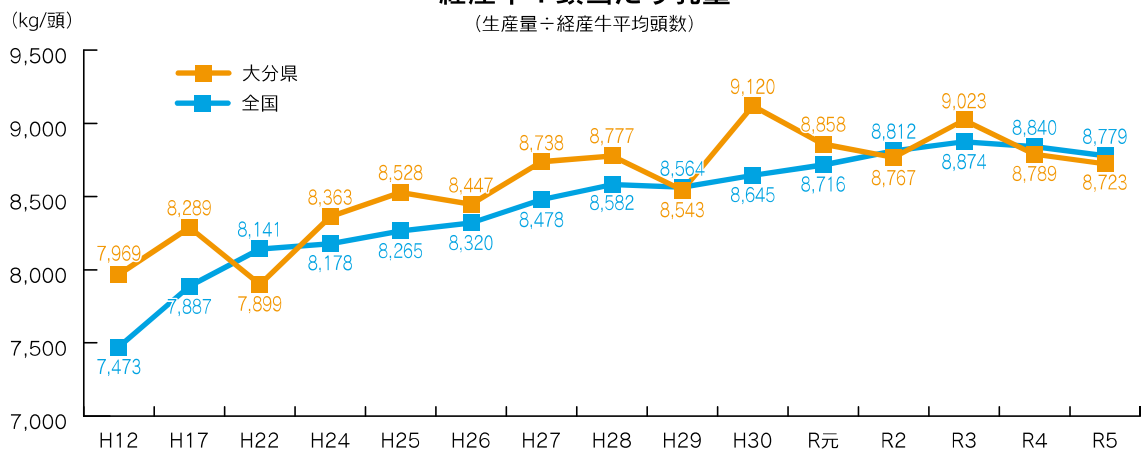
県内外への移出入量



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

経産牛1頭当たり乳量

(生産量÷経産牛平均頭数)



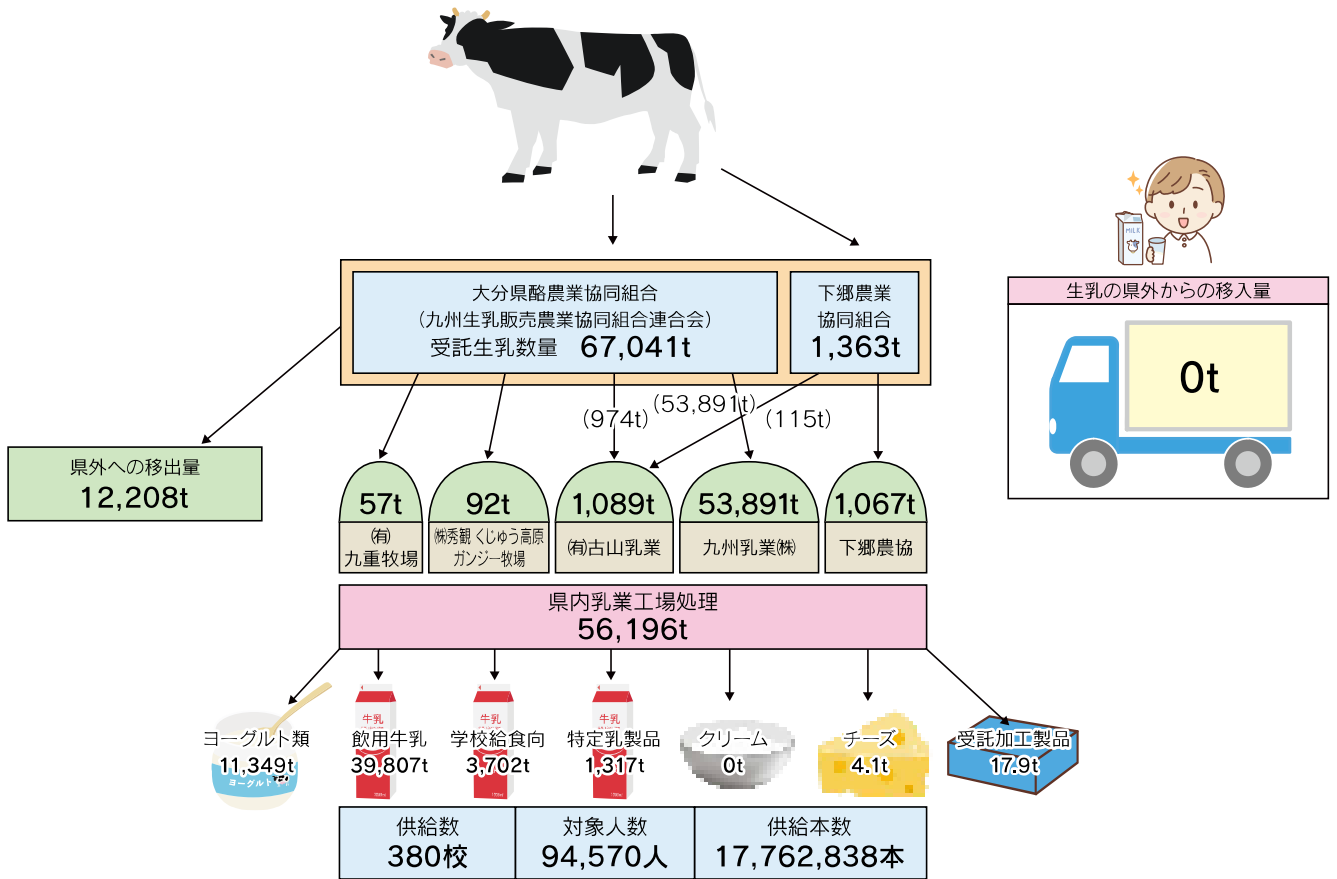
資料：生乳生産量：農林水産省「牛乳乳製品統計」より

資料：経産牛平均頭数：農林水産省「畜産統計」より



飼料ロスを減らすバーンミーティング

(6) 生乳の流通 (R5年度)



資料：畜産技術室調べ

(注1) 生乳生産量：初乳を除く生乳（搾乳したままの乳用牛の乳）の総量であり、乳製品工場、牛乳処理場に出荷したもののほか、生産者の自家飲用、子牛ほ乳用等を含めたもの。

生乳処理量：生乳を県内で乳製品向け、飲用牛乳向け、その他向け（自家飲料、子牛のほ乳用）に処理したものの量。

受託生乳数量：酪農家が県酪協に委託して、九州生乳販売農業協同組合連合会に出荷した量。

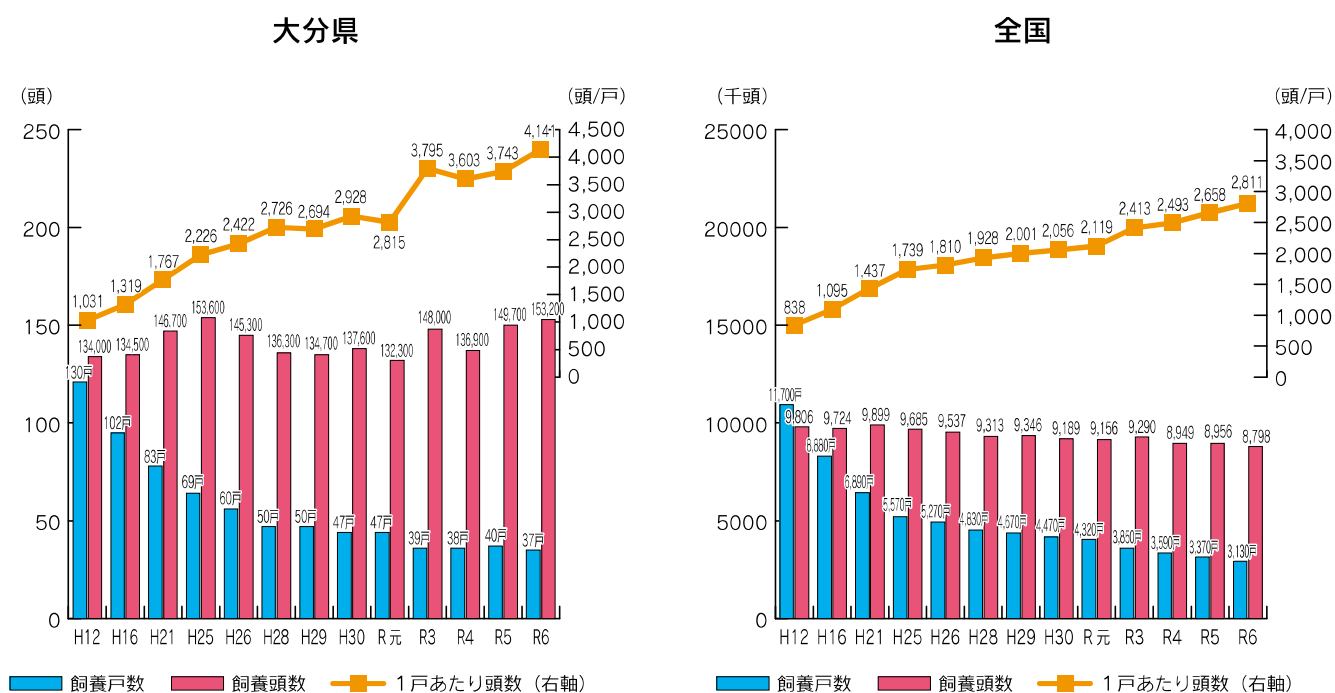
特定乳製品：全粉乳、脱脂粉乳、加糖粉乳、全脂加糖練乳、脱脂加糖練乳、全脂無糖練乳、バター及び子牛用の脱脂乳をいう。

(注2) 当該データはR5年度（4～3月）数値であり、農林水産省「牛乳乳製品統計」はR5年（1～12月）数値であるため、両者は必ずしも一致しない。

(注3) t数については四捨五入の関係のため内訳の計は必ずしも一致しない。

3 豚

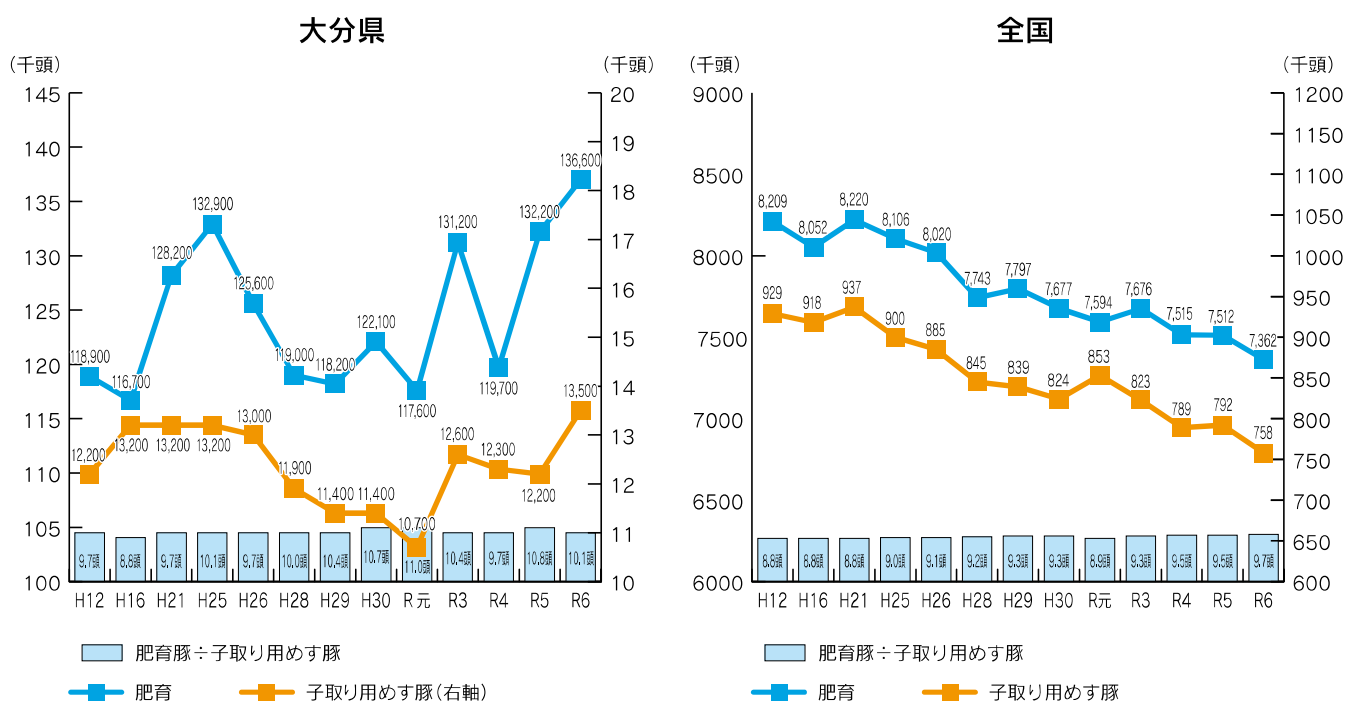
(1) 飼養戸数・頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注) H17年、H22年、H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表

(2) 用途別頭数の推移



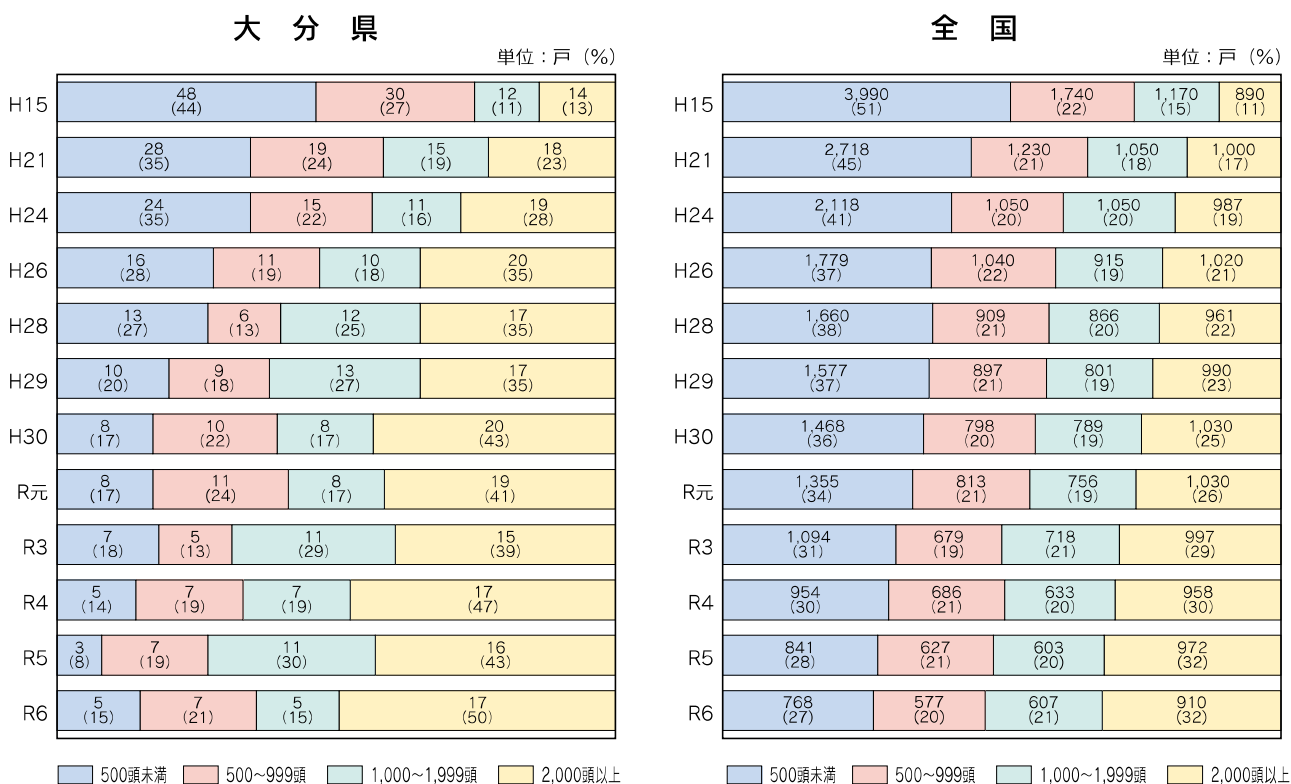
資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) H17年、H22年、H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表

(注2) 子取り用めす豚: 生後6ヶ月以上で子豚を生産することを目的としているめす豚。

(過去に種付けしたことのある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚)

(3) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

- (注1) H17年、H22年、H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表
 (注2) 肥育豚：肉豚として販売することを目的としている豚をいい、もと豚として販売するものは含まない。
 (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(4) 肥育豚頭数規模別飼養頭数の推移

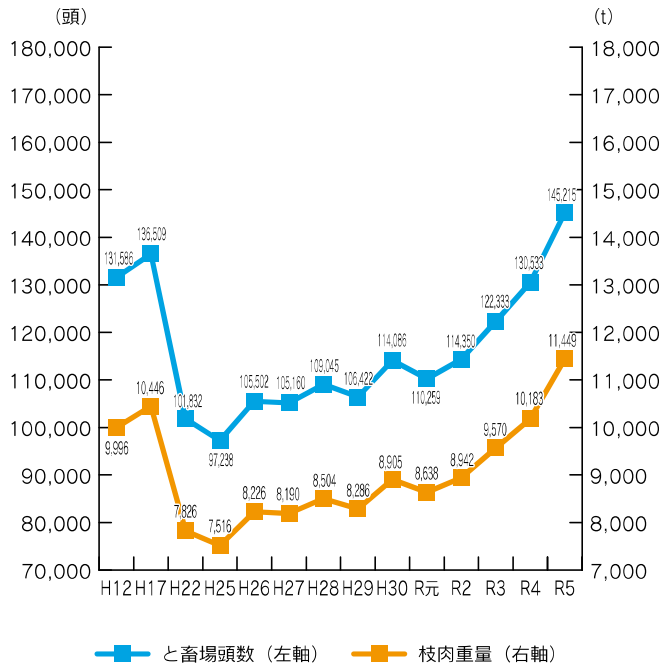


資料：農林水産省「畜産統計」

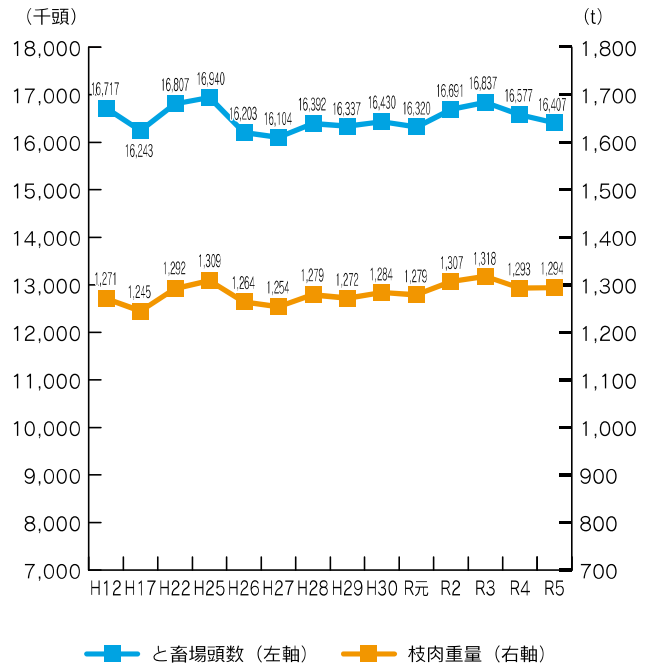
- (注1) H17年、H22年、H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表
 (注2) 肥育豚：肉豚として販売することを目的としている豚をいい、もと豚として販売するものは含まない。
 (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(5) 肉豚のと畜及び枝肉の生産状況

大分県内と畜



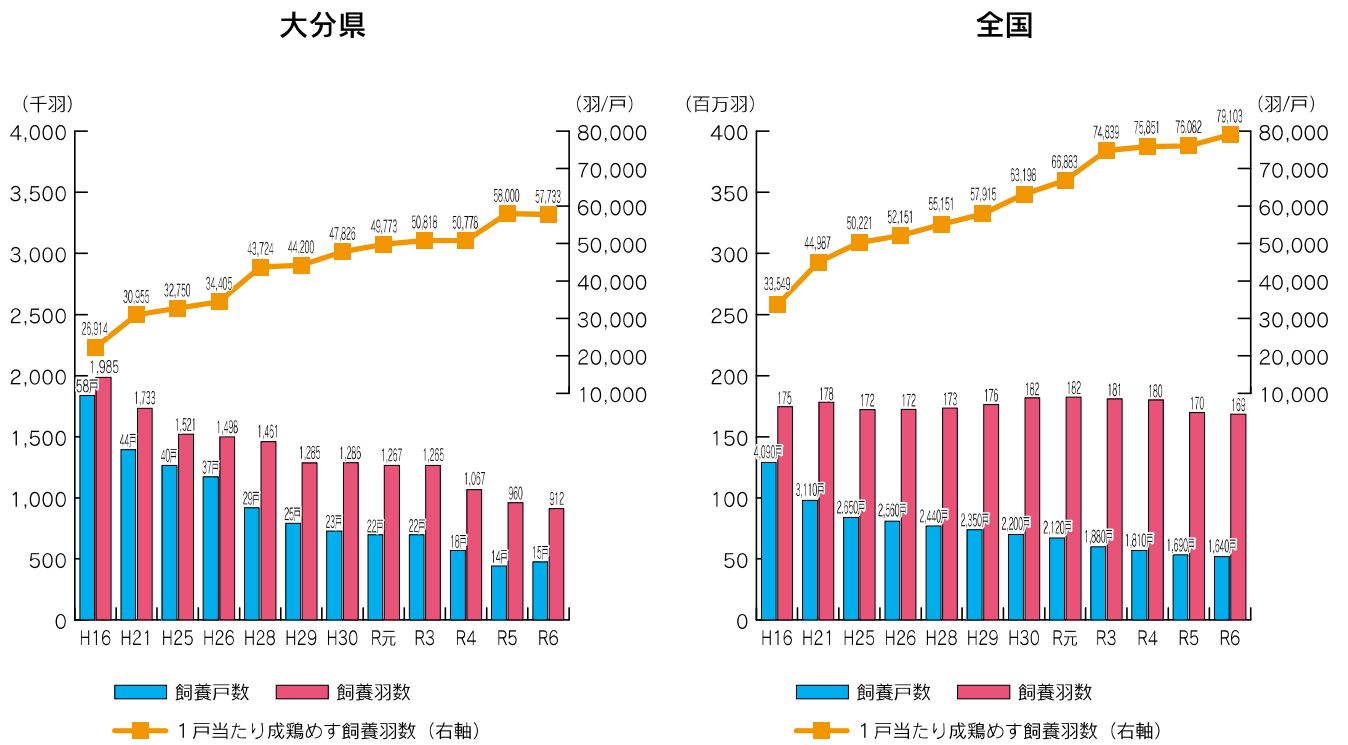
全国



資料：農林水産省「畜産物流通統計」

4 採卵鶏

(1) 飼養戸数・羽数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

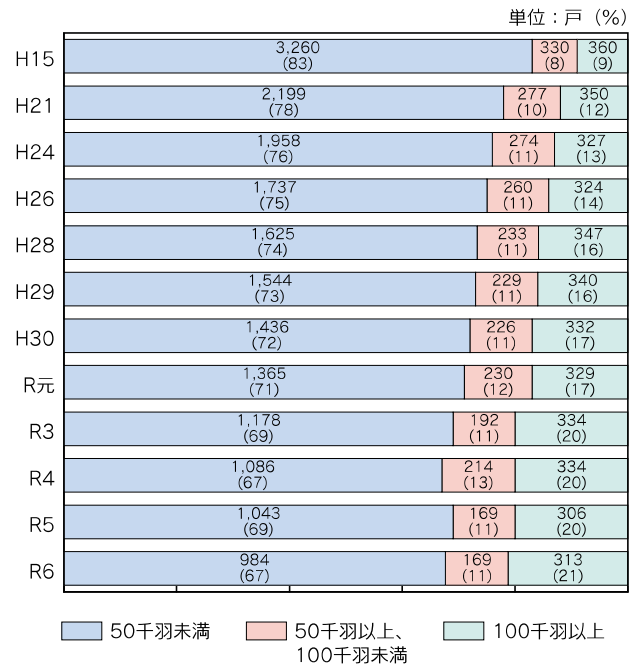
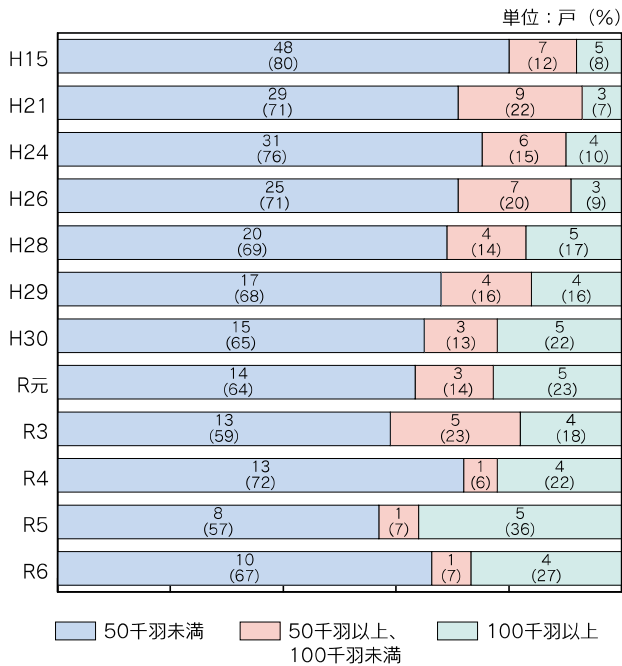
(注1) H17年、H22年、H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表。

(注2) 飼養戸数・飼養羽数は種鶏のみの飼養戸数、種鶏の飼養羽数を除き、成鶏めす羽数は1,000羽未満の飼養戸数・羽数を除く。

(2) 成鶏めす羽数規模別飼養戸数の推移

大分県

全国



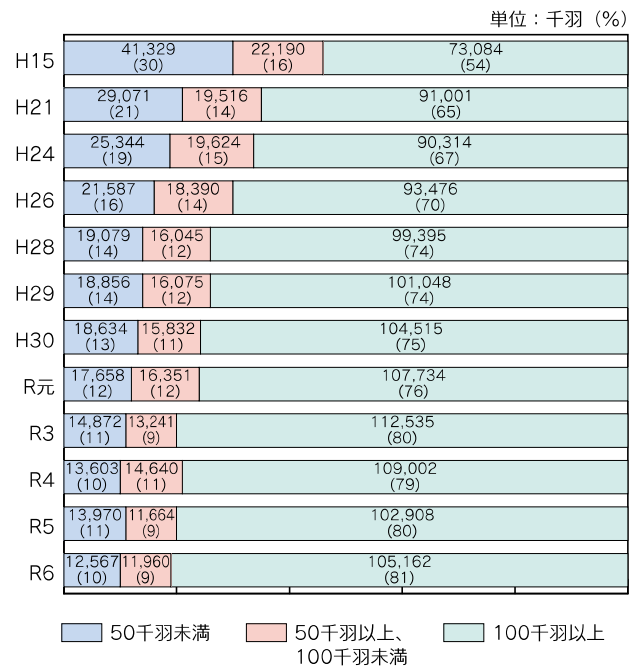
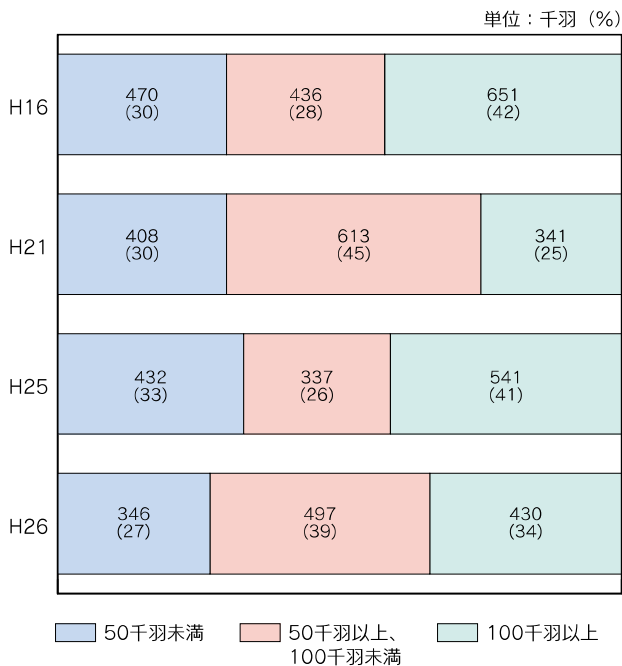
資料：農林水産省「畜産統計」

- (注1) H17年、H22年、H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表。
 (注2) 戸数には1,000羽未満の飼養戸数は含まない。
 (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(3) 成鶏めす羽数規模別成鶏めす飼養羽数の推移

大分県

全国

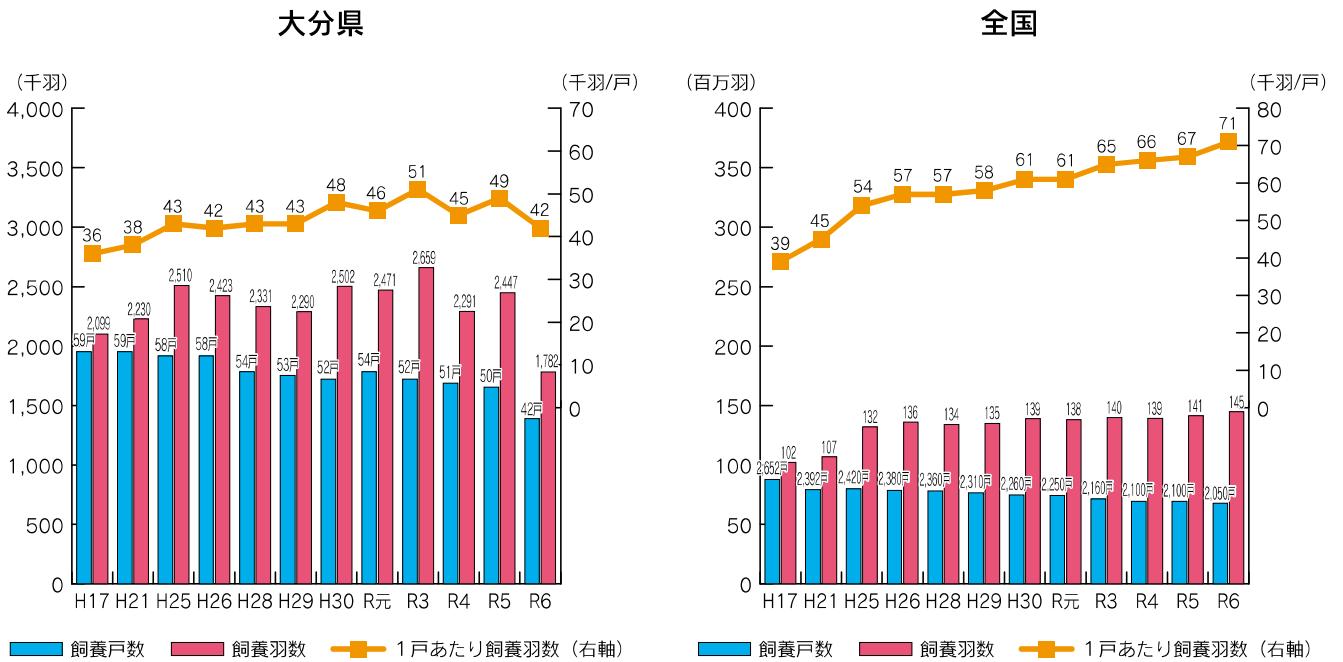


資料：農林水産省「畜産統計」

- (注1) H17年、H22年、H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表。
 (注2) 戸数には1,000羽未満の飼養戸数は含まない。
 (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない。
 (注4) H24年、H28年、H29年、H30年、R元年、R3年、R4年、R5年及びR6年の大分県数値は、一部に非公表数値があったためグラフから除外。当該非公表は少数調査農家の秘密保護を目的として行われるもの。

5 ブロイラー

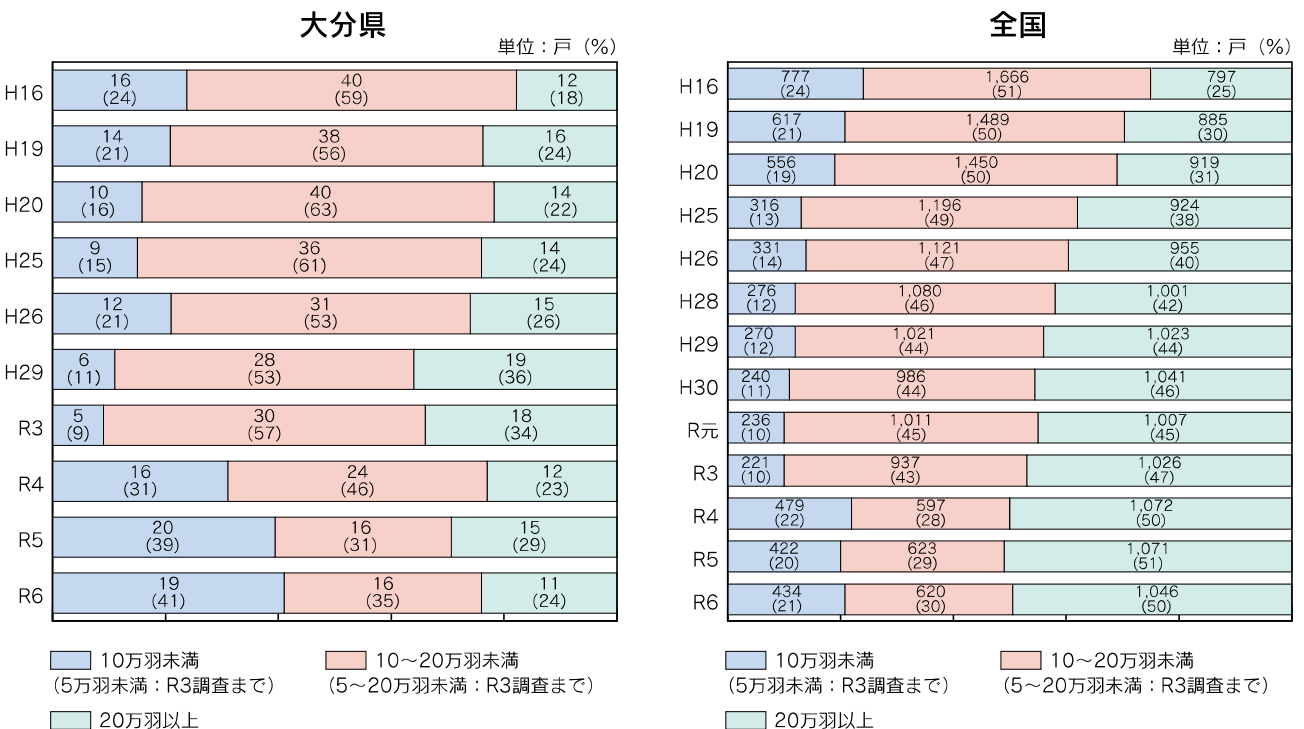
(1) 飼養戸数・羽数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

- (注1) この統計は、2月1日現在のブロイラー飼養戸数及び飼養頭数を調査したもので、一時的に鶏舎消毒のためオールアウトしていた等により、ブロイラーを飼養していない飼養者は除外したものである。
- (注2) H22年からH24年までは調査は行われなかったが、H25年から再開されている。
- (注3) H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表。

(2) 出荷羽数規模別出荷戸数



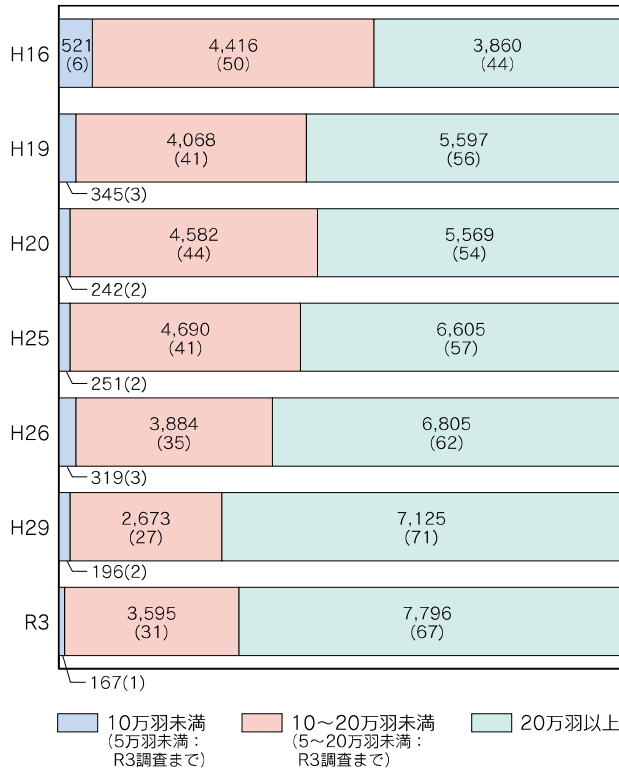
資料：農林水産省「畜産統計」

- (注1) H21年からH24年は調査が行われなかったが、H25年から再開されている。
- (注2) H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表。
- (注3) H30、H31年の大分県数値は、一部に非公表数値があったためグラフから除外。当該非公表は少数調査農家の秘密保護を目的として行われるもの。
- (注4) R4年調査から5万羽未満の統計区分が無くなったため、10万羽未満、10～19万羽に区分を変更している。

(3) 出荷羽数規模別出荷羽数の推移

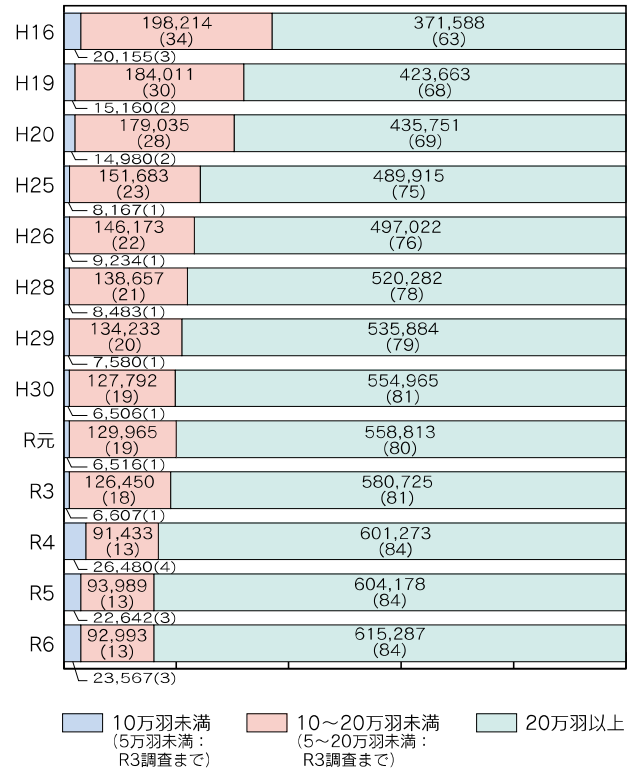
大分県

単位：千羽 (%)



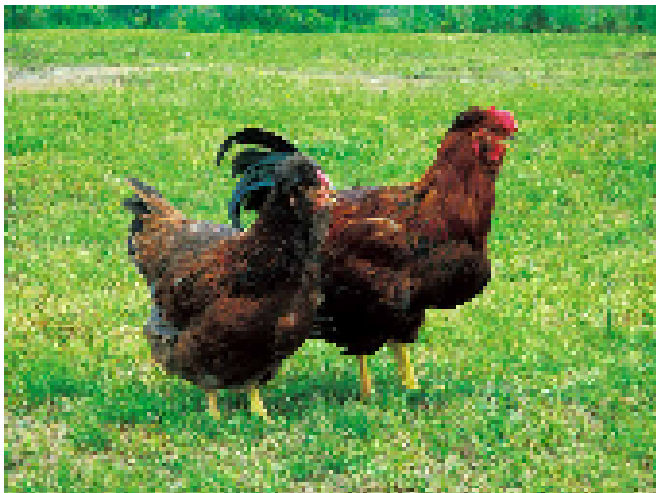
全国

単位：千羽 (%)

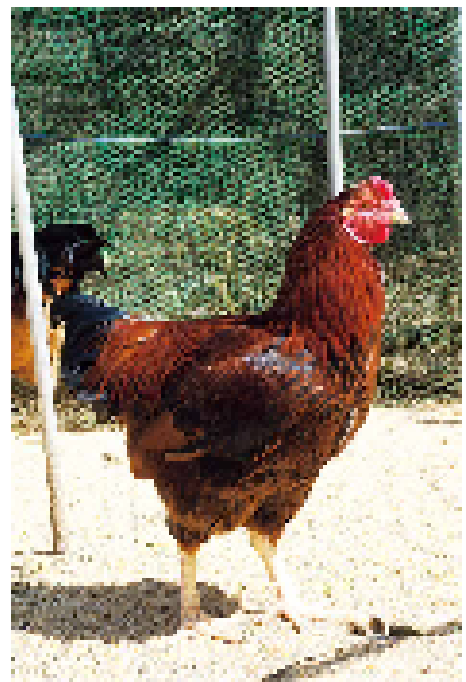


資料：農林水産省「畜産統計」

- (注1) H21年からH24年までは調査は行われなかったが、H25年から再開されている。
- (注2) H27年及びR2年はセンサス実施年のため未公表。
- (注3) H30、H31年、R4年、R5年及びR6年の大分県数値は、一部に非公表数値があったためグラフから除外。
当該非公表は少数調査農家の秘密保護を目的として行われるもの。
- (注4) R4年調査から5万羽未満の統計区分が無くなったため、10万羽未満、10～19万羽に区分を変更している。



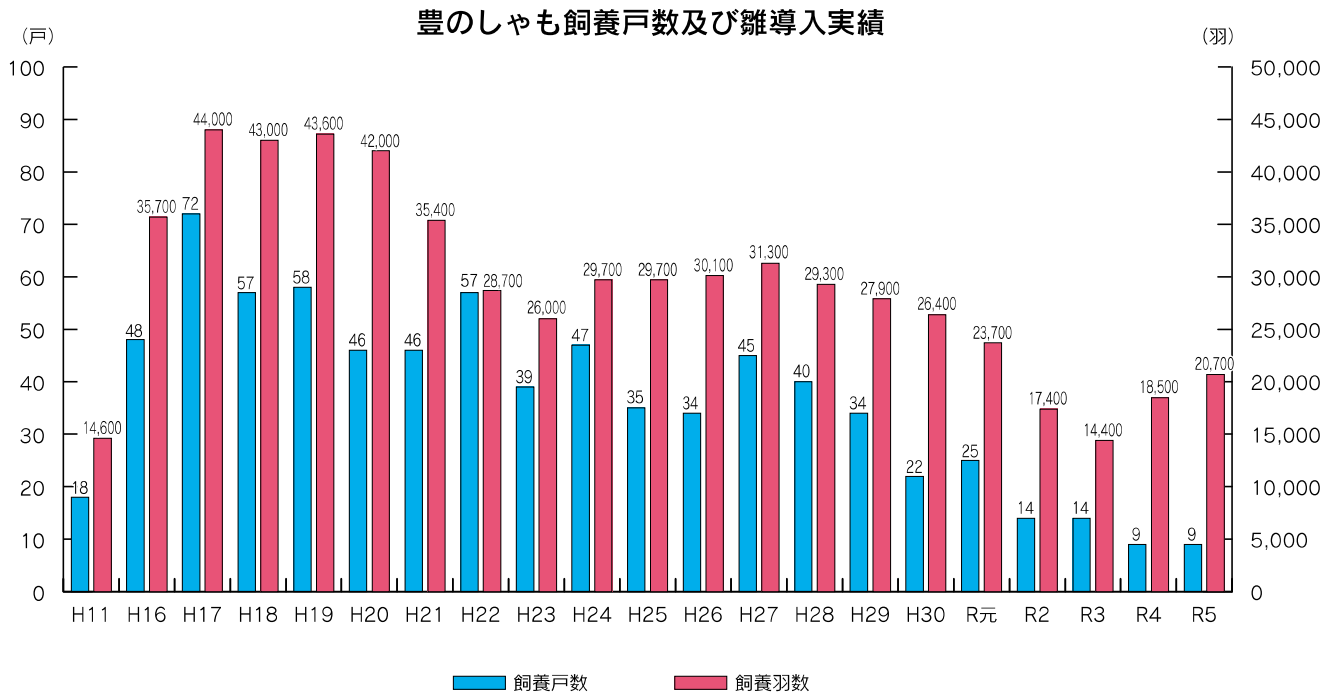
『おおいた冠地どり』



『豊のしゃも』

6 地鶏

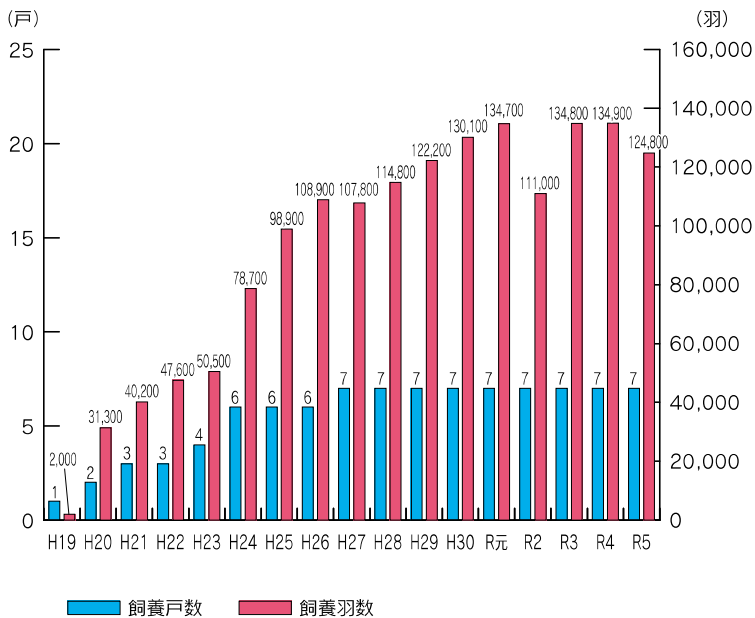
(1) 豊のしゃも



資料：大分県農林水産研究指導センター畜産研究部、民間種鶏場調べ

(2) おおいた冠地どり

おおいた冠地どり飼養戸数及び雛導入実績



(3) 地鶏取扱店

① 豊のしゃも取扱店 (R6.10現在)

- ・ 県内卸小売 10店
- ・ 県内料理店 23店
- ・ 県外卸小売 2店
- ・ 県外料理店 29店
- 計 64店

※取扱店の調査は隔年で実施するため、令和5年度は調査していない。

② おおいた冠地どり取扱店 (R6.10現在)

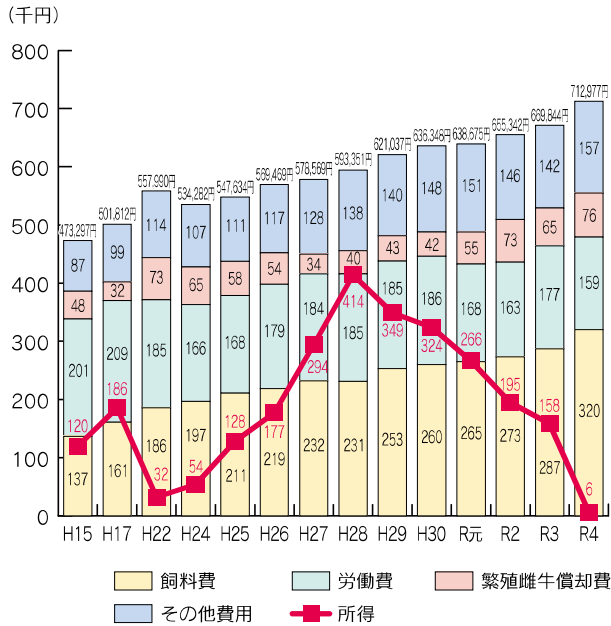
- ・ 県内卸小売 86店
- ・ 県内料理店 197店
- ・ 県外卸小売 34店
- ・ 県外料理店 98店
- 計 415店

※取扱店の調査は隔年で実施するため、令和5年度は調査していない。

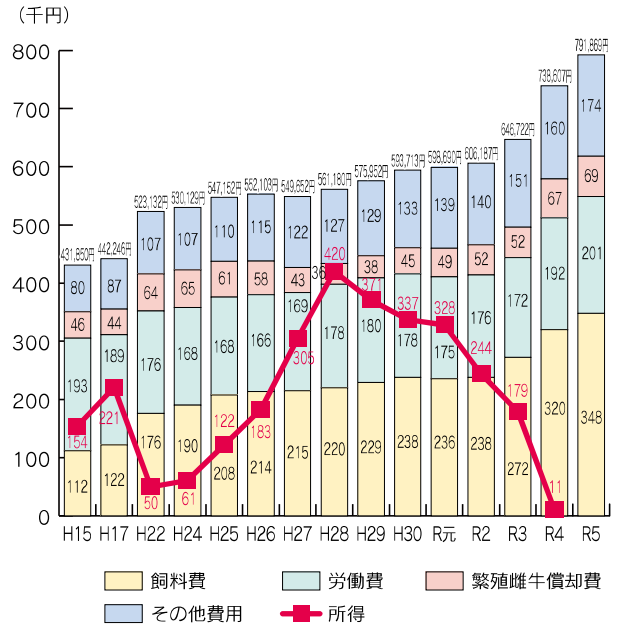
7 生産費と所得の推移

(1) 子牛の生産費(子牛1頭あたり)と所得(繁殖雌牛1頭あたり)の推移

九州



全国

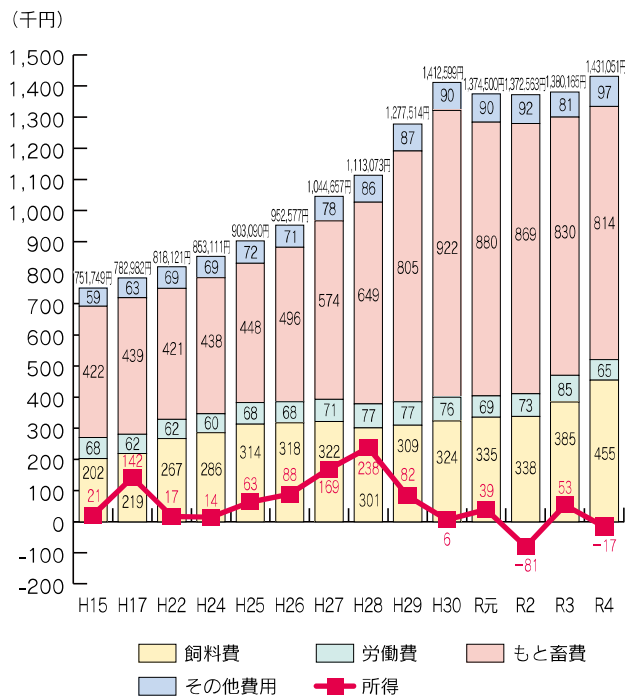


資料：農林水産省「経営統計 畜産物生産費統計」

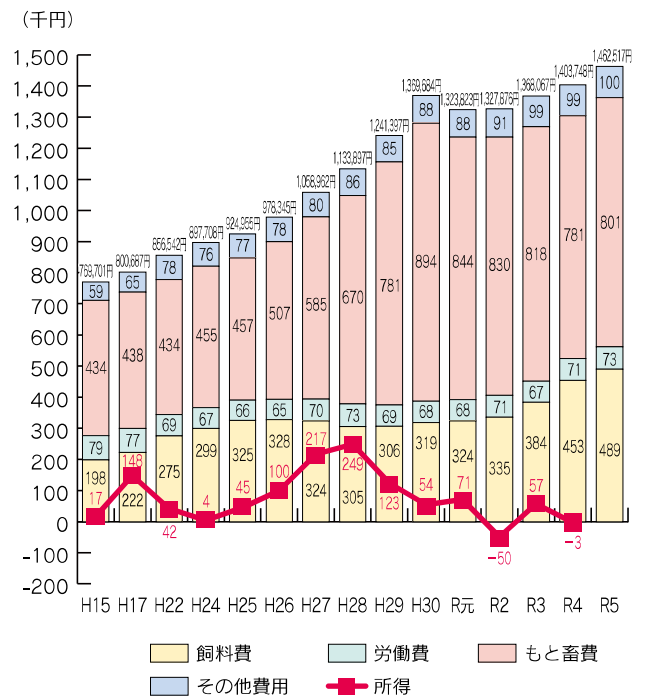
(注) 「大分の畜産2024」作成時点において、R5年度数値は全国数値の一部のみ公表されている。

(2) 肥育牛生産費と所得の推移(去勢肥育牛1頭当たり)

九州



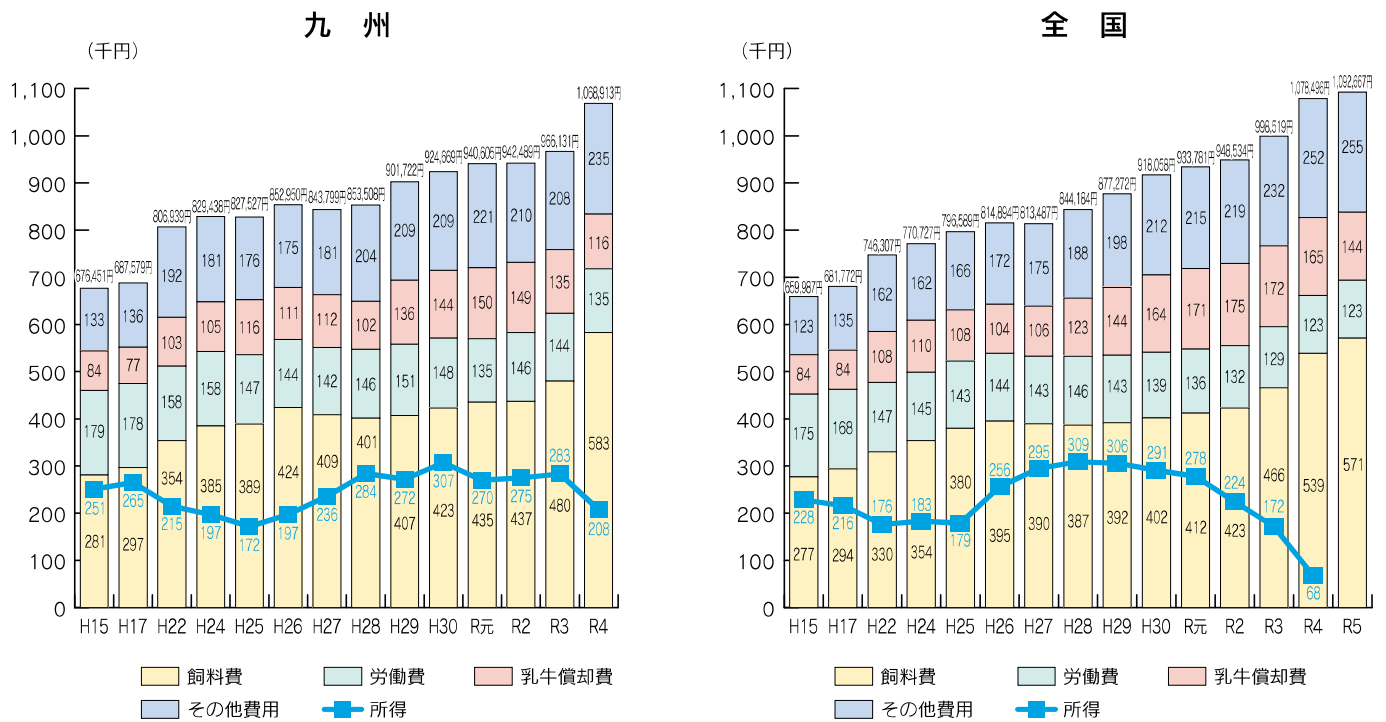
全国



資料：農林水産省「経営統計 畜産物生産費統計」

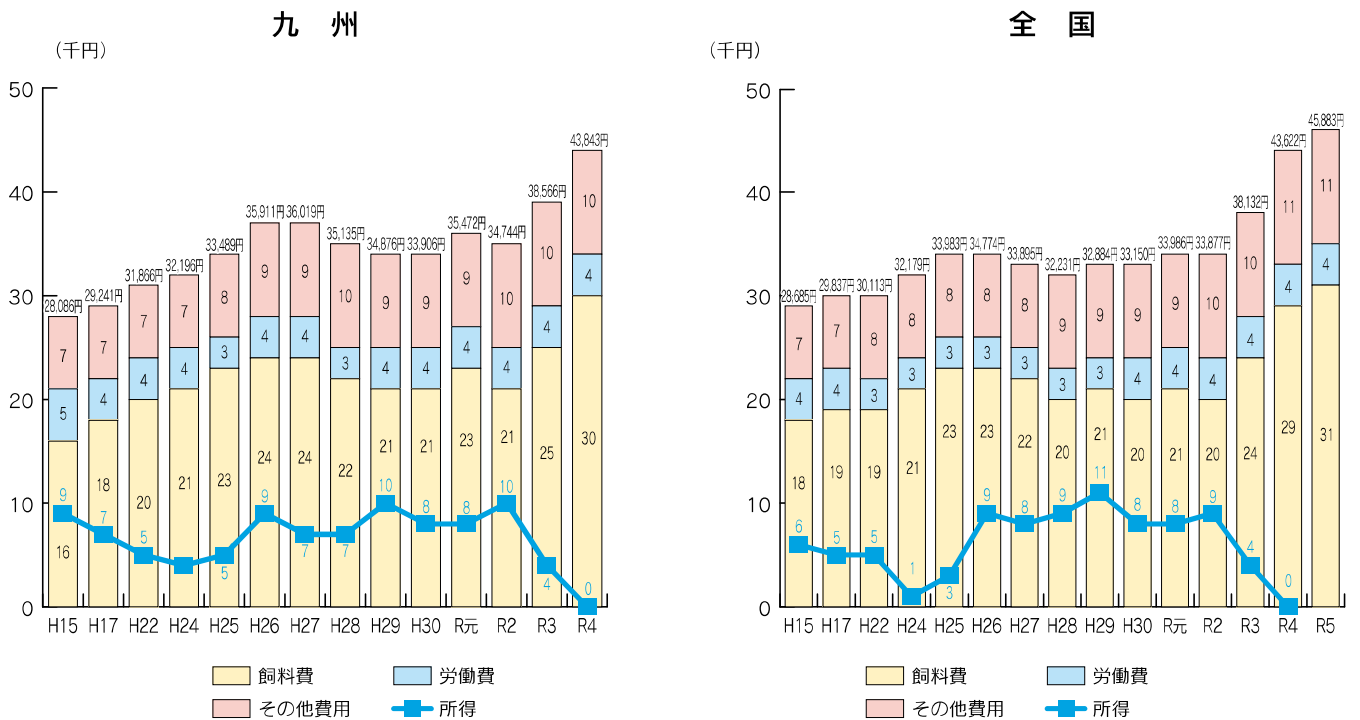
(注) 「大分の畜産2024」作成時点において、R5年度数値は全国数値の一部のみ公表されている。

(3) 生乳生産費と所得の推移(搾乳牛通年換算1頭当たり)



(注)「大分の畜産2024」作成時点において、R5年度数値は全国数値の一部のみ公表されている。

(4) 肥育豚生産費と所得の推移(肥育豚1頭当たり)

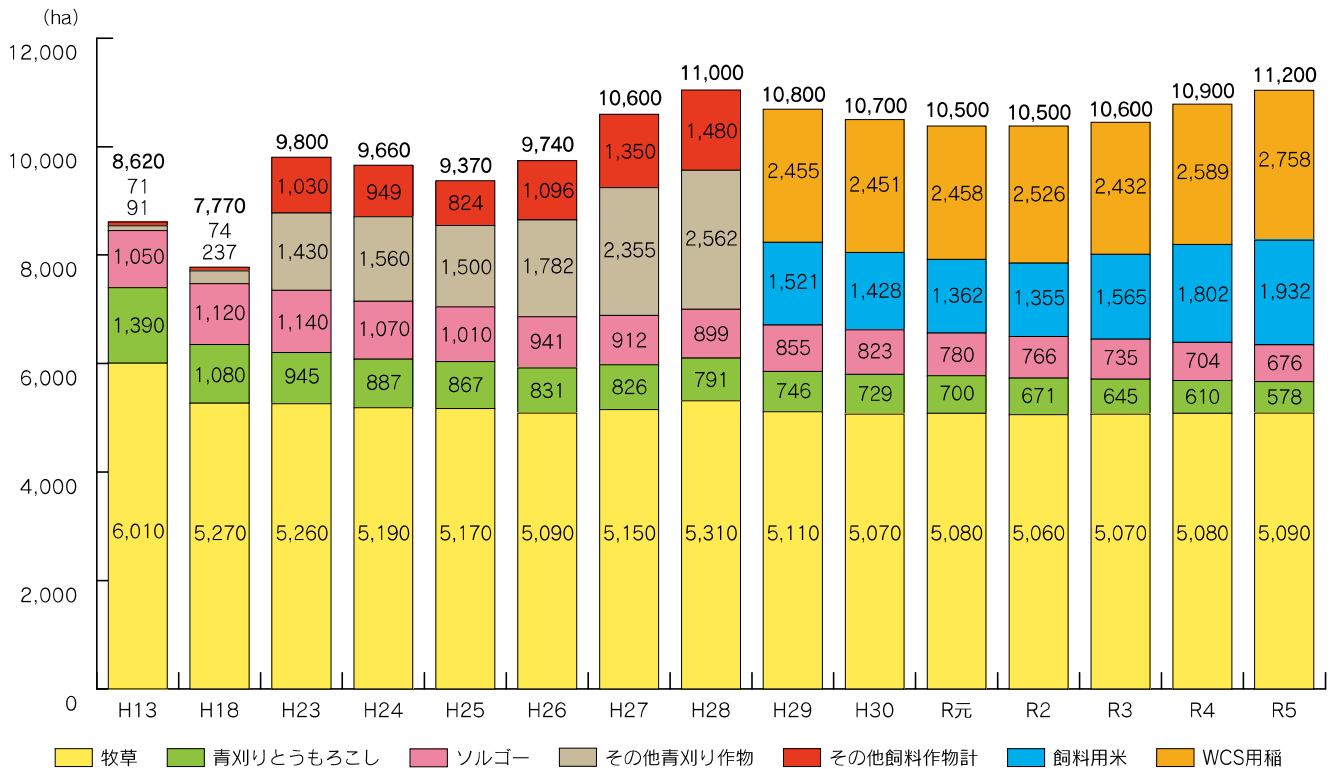


(注)「大分の畜産2024」作成時点において、R5年度数値は全国数値の一部のみ公表されている。

Ⅲ 飼料

1 飼料作物作付状況

飼料作物作付面積の推移

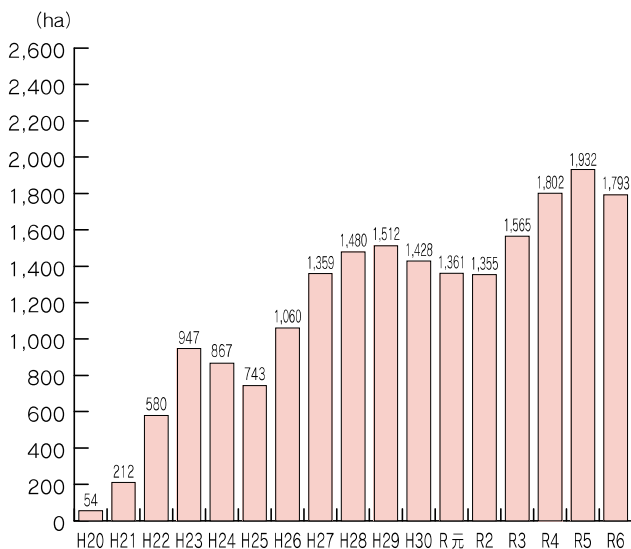


資料：農林水産省「面積統計」

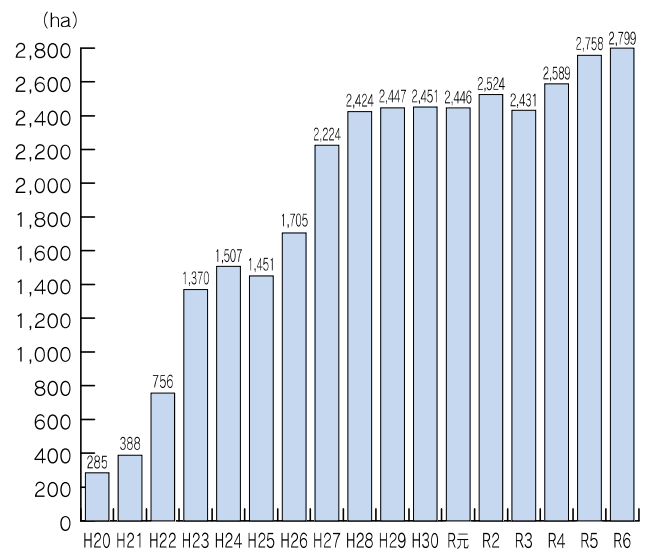
(注1) H28までの調査項目「その他青刈り作物」「その他飼料作物計」は、H29から「飼料用米」「WCS用稲」に変更となっている。

(注2) グラフ上部の数値は飼料作物計（牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴーのほか、その他飼料作物（飼料用米等）を含めた飼料作物の合計）を示し、各項目の合計と必ずしも一致しない。

飼料用米の作付状況



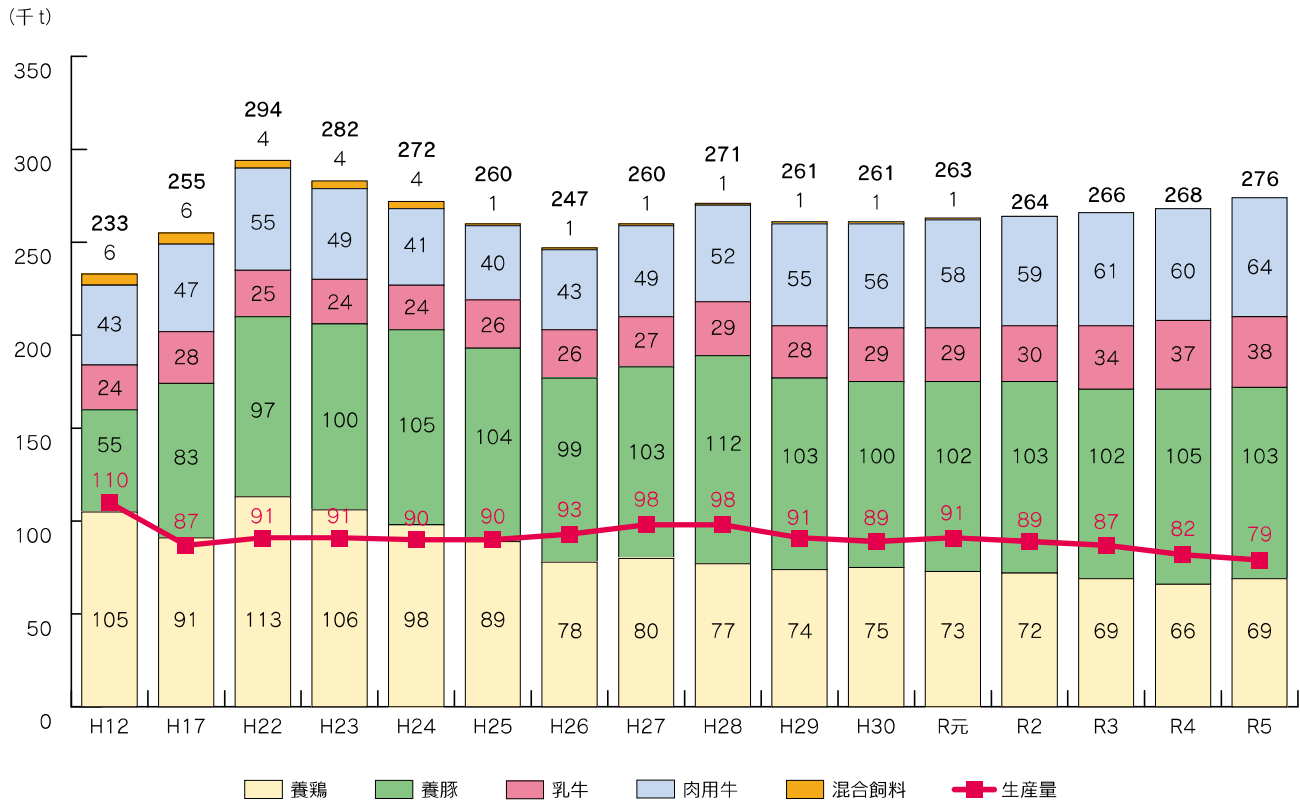
稲発酵粗飼料(WCS)の作付状況



資料：畜産技術室調べ

2 配合混合飼料

畜種別配合・混合飼料の県内生産量及び消費量の推移



資料：農林水産省「飼料月報」

- (注1) 混合飼料：行政や流通の上から、ある特定成分の補給又は輸入関税の免税措置を受けられることを目的に製造される配合飼料の一種。
 配合飼料：2種類以上の飼料原料を一定の割合で混合した物。我が国では一般に家畜・家さんの種類や飼料目的に応じて、必要な養分を十分含むように市販されているものが多い。
- (注2) 四捨五入の関係で内訳の計は必ずしも総数に一致しない。



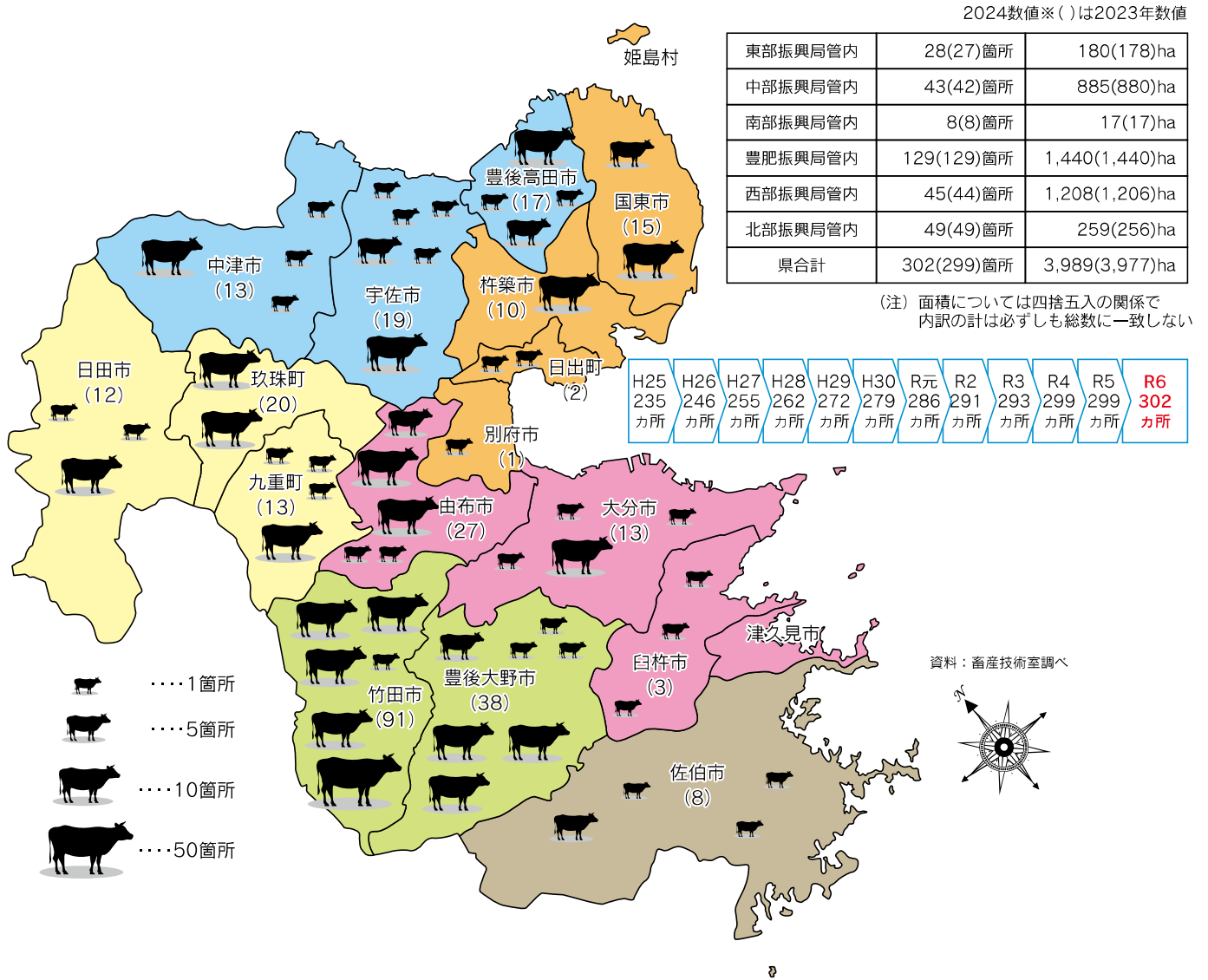
青刈りとうもろこしの収穫風景



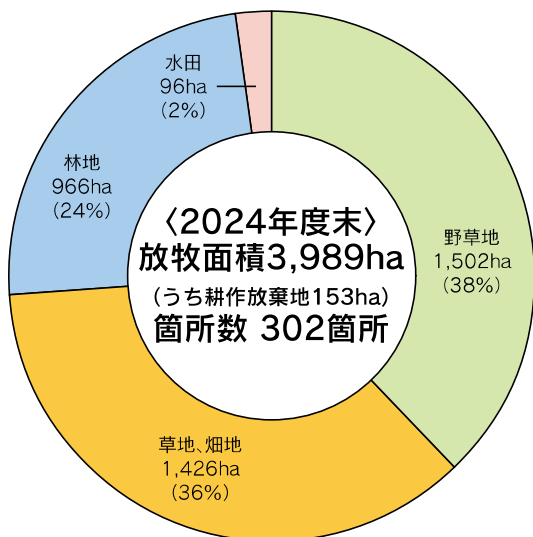
飼料用米保管庫

3 放牧取組状況

(1) 大分県における「おおいた型放牧」分布図



(2) おおいた型放牧面積の地目別内訳



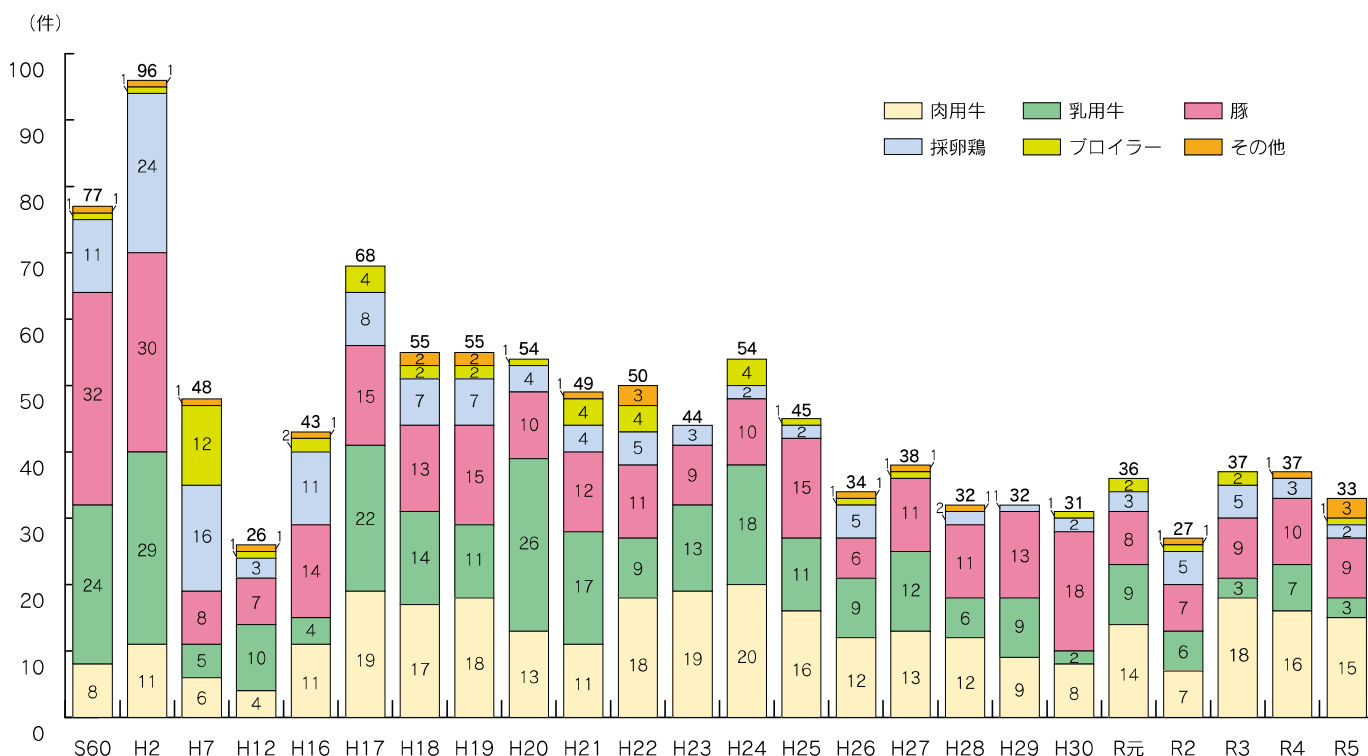
(注) 四捨五入の関係で内訳の計は必ずしも総数に一致しない。



元農地を活用した、おおいた型放牧

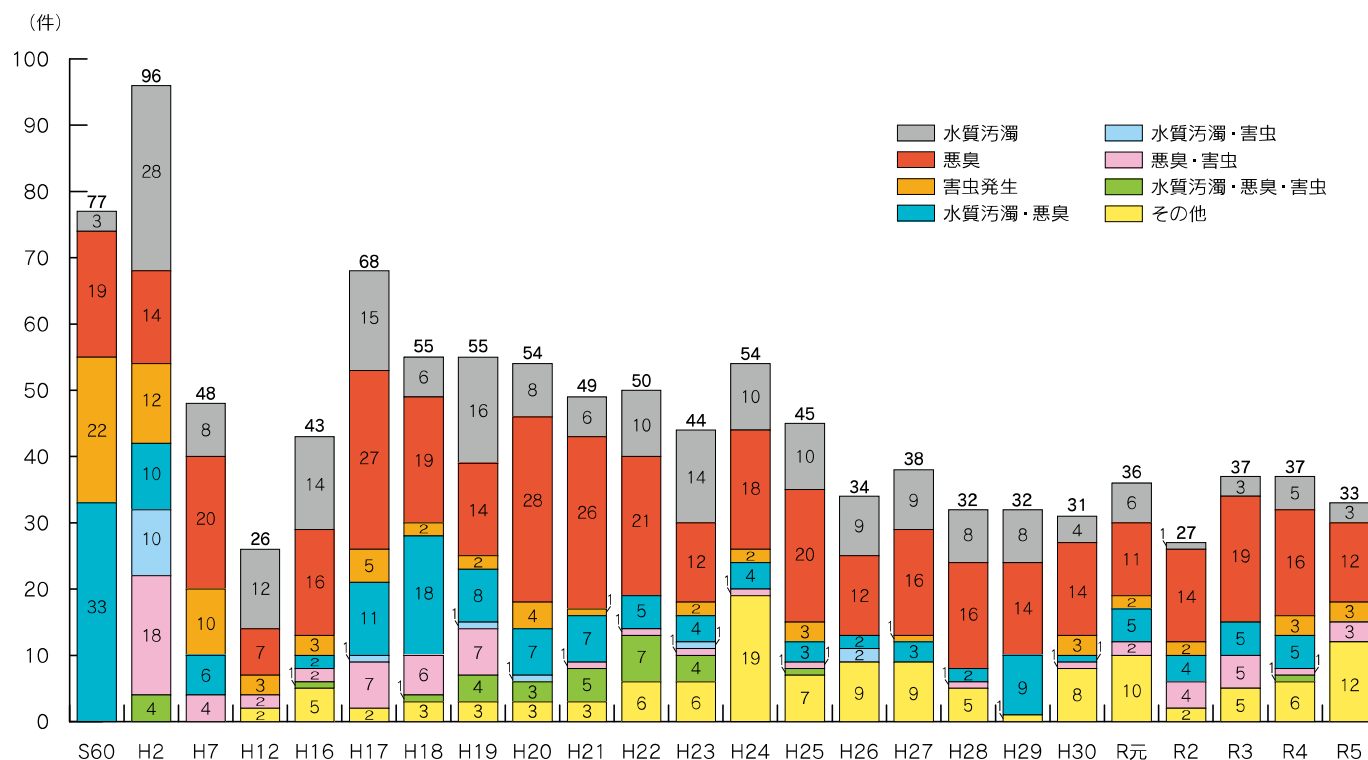
2 環境汚染問題畜種別発生件数

(1) 畜種別苦情発生件数



(注) 各年度の調査期間は当該年度の7月から翌年の6月まで。

(2) 種類別苦情発生件数



(注) 各年度の調査期間は当該年度の7月から翌年の6月まで。

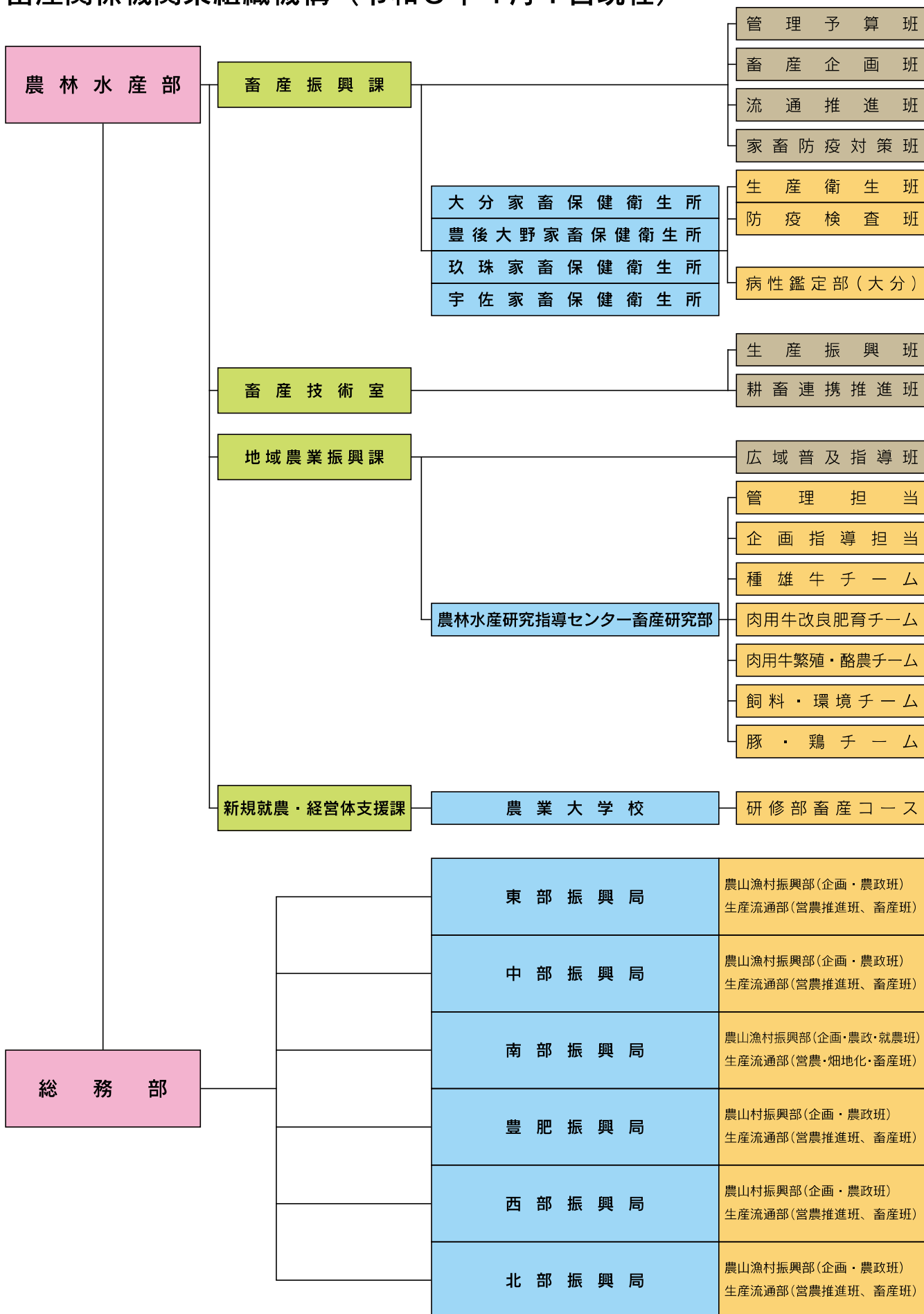
(資料1)

畜産関係団体等一覧

名称	代表者	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
(公社)大分県畜産協会	会長 森 誠一	870-0844	大分市古国府6-4-1 (JA全農大分県本部別館2階)	097-545-6591	554-4049
(公社)大分県獣医師会	会長 立川 文雄	870-1201	大分市廻栖野3231-47 おおいた動物愛護管理 センター 管理棟2F	097-574-5211	574-5221
大分県農業共済組合	組合長理事 森 宗一	870-0822	大分市大道町3-1-1	097-544-8110	544-8242
(一社)大分県配合飼料価格 安定基金協会	理事長 工藤 厚憲	870-0025	大分市顕徳町2-1-3 カーサ阿部203	097-534-2727	534-0991
大分県家畜人工授精師協会	会長 工藤 哲也	870-8501	大分市大手町3-1-1 (県庁畜産技術室内)	097-506-3682	506-1762
(公社)全国和牛登録協会 大分県支部	支部長 長野 智幸	870-0844	大分市古国府6-4-1 (全農大分県本部別館2階)	097-574-8588	574-8258
大分県家畜商業協同組合	理事長 石田 和男	870-0844	大分市古国府6-4-1 (全農大分県本部別館2階)	097-574-8588	574-8258
(株)大分県畜産公社	代表取締役社長 壁村 雄吉	879-7305	豊後大野市犬飼町田原 1580-29	097-578-0290	578-0308
大分県食肉事業協同組合 連合会	会長 清田 浩徳	870-1121	大分市鷲野929-3	097-529-6544	529-6599
大分県酪農業協同組合	代表理事組合長 本川 和幸	870-1201	大分市廻栖野3231	097-586-4222 (管理部)	586-4226
(一社)大分県酪農 ヘルパー協会	会長 清末 健一	870-1201	大分市廻栖野3231 (大分県酪内)	097-586-4293 (酪農部)	586-4226
大分県牛乳普及協会	会長 本川 和幸	870-1201	大分市廻栖野3231 (大分県酪内)	097-586-4223	586-4226
(株)大分県酪食肉公社	代表取締役 由見 光洋	870-0108	大分市大字三佐字新港 2405-2	097-521-4452	522-2743
(有)大分県酪農振興公社	代表取締役 釘宮 康弘	877-0065	日田市緑町1-30-10	0973-27-6280	0973-27- 6281
大分県草地飼料協会	会長 土居 昌弘	870-8501	大分市大手町3-1-1 (県庁畜産技術室内)	097-506-3684	506-1762
大分県養豚協会	会長 工藤 厚憲	870-0844	大分市古国府6-4-1 (大分県畜産協会内)	097-545-6593	554-4049
大分県養鶏協会	会長 荒牧 洋一	870-0844	大分市古国府6-4-1 (大分県畜産協会内)	097-545-6593	554-4049
全国農業協同組合連合会 大分県本部	本部長 藤田 明弘	870-8635	大分市古国府6-4-1	097-544-0101	546-6840
大分県農業協同組合中央会	会長 壁村 雄吉	870-0846	大分市花園3-2-17	097-535-7434	535-8297
大分県信用農業協同組合 連合会	代表理事理事長 後藤 文生	870-0846	大分市花園3-2-17	097-547-8510	546-2600

(資料2)

畜産関係機関県組織機構 (令和6年4月1日現在)



(資料3)

令和6年 畜産・流通関係の主な出来事(1~12月)

月日(期間)	内 容
1月19日、24日、30日	大分市立小学校給食へのおおいた和牛の提供と食育授業の実施 [三佐小学校、坂ノ市小学校、鶴崎小学校] (写真①)
2月~3月	県外小売店にて、おおいた和牛フェアの開催[関西・福岡]
2月9日~3月3日	百年の恵み「おおいた和牛」プレゼントキャンペーンの開催[東京・関西・福岡] (写真②)
2月10日~29日	「米の恵み」飯あがれ!キャンペーンの開催
2月24日	JR九州と連携し「おおいた和牛を楽しむ日帰りグルメツアー」の開催(写真③)
2月29日	青山学院大学陸上競技部2024大分合宿 佐藤知事表敬及び県畜産物の提供[大分県庁] (写真④)
4月1日~7月31日	大分空港におおいた和牛とおおいた冠地どりのコラボ看板掲載[国東市:大分空港]
4月5日	JAおおいた西部営農経済センターキャトルステーション竣工[玖珠町] (写真⑤)
4月6日	「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」オープニングイベントにて、おおいた和牛のPR を実施[大分駅前広場] (写真⑥)
4月21日	大分県ブラック&ホワイトショウ開催 岡嶋健一郎氏(九重町)がグランドチャンピオンを受賞、(有)デイリーファーム本正(日田市) がリザーブチャンピオンを受賞[大分市:みどりの王国] (写真⑦)
6月9日	牛乳・乳製品の消費拡大運動として模擬搾乳体験、牛乳の無料配布[大分市:わさだタウン] (写真⑧)
6月10日	知事への牛乳・乳製品贈呈式[大分市:大分県庁] (写真⑨)
7月8日	第13回全国和牛能力共進会大分県推進協議会設立総会 令和9年に開催される北海道全共での好成績獲得に向け、生産者・関係機関で組織する県推 進協議会(会長:森誠一県畜産協会会長)を設立して出品対策を開始[大分市] (写真⑩)
7月18日	青刈りとうもろこし栽培研修会[宇佐市] (写真⑪)
8月1日~	大分空港におおいた和牛PR看板掲出[国東市:大分空港] (写真⑫)
8月10日~9月11日	「9月4日はおおいた和牛の日」「おおいた和牛」買って当てよう!キャンペーンの開催(県内 小売105店舗) (写真⑬)
8月10日	全農主催「おおいた和牛大祭」「おおいた豊後牛 親子食育フォーラム」の開催[大分市] (写真⑭)
8月18日	JAおおいた西部営農経済センターキャトルステーションの子牛初出荷[豊後玖珠家畜市場] (写真⑮)

令和6年 畜産・流通関係の主な出来事(1～12月)

月日(期間)	内 容
9月7日	第48回九州管内系統和牛枝肉共励会で(株)浦田牧場(宇佐市)が「加代白清」産子で銅賞を受賞。大分県出品牛は平均枝肉重量524.4kg、BMS No.10.9の好成績。
9月21日	坂本哲志元農林水産大臣来県。生産者との意見交換を実施。
9月25日～9月26日	高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した特定家畜伝染病防疫演習[玖珠町]
10月5日	大分県畜産共進会(肉牛の部)開催 後藤泉氏(豊後大野市)が農林水産省畜産局長賞(第1区・黒毛和種)、矢野康紀氏(豊後高田市)が九州農政局長賞(第2区・交雑種)を受賞[豊後大野市:(株)大分県畜産公社] (写真16)
10月6日	大分県畜産共進会(乳用牛の部)開催 岡嶋建一郎氏(九重町)が農林水産大臣賞を受賞、吉長次敏氏(日田市)が九州農政局長賞を受賞[大分市:みどりの王国] (写真17)
10月15日	但馬系県有種雄牛「幸照茂」が現場後代検定(去勢・雌平均)でコース芯面積、歩留基準値、BMSNo.の3項目で歴代1位となる抜群の成績。
10月15日	養鶏農家に対する消毒用消石灰の配布開始
10月19日	大分県畜産共進会(肉用牛の部)開催 清水蔵人氏(竹田市)が農林水産大臣賞を受賞、大窪政二氏(竹田市)が九州農政局長賞を受賞[別府市:別府市立山の手中学校跡地] (写真18)
10月29日	大分県家畜保健衛生所並びに畜産関係者業績発表会[大分市:コンパルホール]
11月1日～2日	第63回全国農林水産祭「実りのフェスティバル」にて、おおいた和牛PRを実施[東京]
11月3日	第8回九州連合ホルスタイン共進会開催 大分県からは16頭出品[熊本県菊池郡大津町:熊本県家畜市場] (写真19)
11月7日、14日、21日	大分市立小学校給食へのおおいた和牛の提供と食育授業の実施[東大分小学校、横瀬小学校、下郡小学校]
11月10日	第43回全国豊かな海づくり大会記念弁当におおいた和牛、米の恵み、おおいた冠地どりを提供
11月29日～2月9日	おおいた和牛 ごほうびGET!キャンペーンの開催 キャンペーン開始日にPRイベント(おおいた和牛駅弁販売)を実施[大分市:大分駅] (写真20)
11月29日～2月9日	百年の恵み「おおいた和牛」プレゼントキャンペーンの開催[東京・関西・福岡]
12月18日	おおいた和牛料理講座の開催[別府市:立命館アジア太平洋大学]と おおいた和牛食育カレンダー作成・配布[立命館アジア太平洋大学] (写真21)

令和6年 畜産・流通関係の主な出来事



① 小学校へのおおいた和牛の提供と食育事業の実施
(1月19日、24日、30日)[大分市]



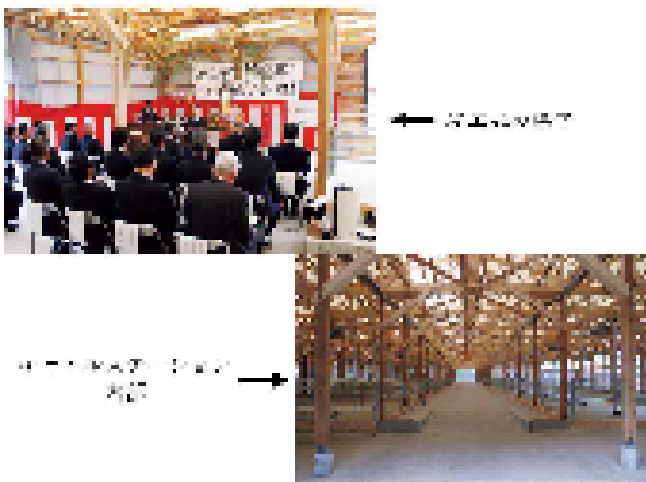
② 県外でのおおいた和牛プレゼントキャンペーンの実施
(2月9日～3月3日)[東京・関西・福岡]



③ JR九州と連携した「おおいた和牛を楽しむ日帰りグルメツアー」の開催(2月24日)



④ 青山学院大学陸上部2024大分合宿
佐藤知事表敬訪問及び県産畜産物の提供
(2月29日)[大分県庁]



⑤ JAおおいた西部営農経済センターキャトルステーションの竣工
(4月5日)[玖珠町]



⑥ 「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」
オープニングイベントにて、おおいた和牛のPRを実施
(4月6日)[大分駅前広場]

令和6年 畜産・流通関係の主な出来事



⑦ 大分県ブラック&ホワイトショウ開催(4月21日)
[大分市:みどりの王国]



⑧ 牛乳・乳製品の消費拡大運動として模擬搾乳体験、
牛乳の無料配布(6月9日)[大分市:わさだタウン]



⑨ 知事への牛乳・乳製品贈呈式(6月10日)[大分県庁]



⑩ 第13回全国和牛能力共進会大分県推進協議会設立総会の開催
(7月8日)[大分市]



⑪ 青刈リトウモロコシ栽培研修会の実施(7月18日)
[宇佐市]



⑫ 大分空港におおいた和牛PR看板掲出(8月1日～)
[国東市:大分空港]

令和6年 畜産・流通関係の主な出来事



13 「9月4日はおおいた和牛の日」「おおいた和牛」買って当てよう!キャンペーンの開催(8月10日~9月11日)



14 全農主催「おおいた和牛大祭」「おおいた豊後牛 親子食育フォーラム」の開催(8月10日)[大分市]



15 JAおおいた西部営農経済センターキャトルステーションより初出荷された子牛(8月18日)[豊後玖珠家畜市場]



16 大分県畜産共進会(肉牛の部)における農林水産省畜産局長賞受賞財(10月5日)[豊後大野市]



17 大分県畜産共進会(乳用牛の部)の開催(10月6日)[大分市]



18 大分県畜産共進会(肉用牛の部)の開催(10月19日)[別府市]

令和6年 畜産・流通関係の主な出来事



⑱ 第8回九州連合ホルスタイン共進会への出品
(11月3日)[熊本]



⑳ おおいた和牛 ごほうびGET!キャンペーンの開催
(11月29日～2月9日)[大分市]



㉑ おおいた和牛料理講座の開催(12月18日)[別府市]

(資料4)

但馬系種雄牛「幸照茂」が現場後代検定(去勢・雌平均)で
ローズ芯面積、歩留基準値、BMS No. の3項目歴代1位!



黒原6422 (87.4)
 生年月日 : 令和元年8月21日
 生産地 : 豊後大野市
 個体識別番号 : 16138-1111-3
 直接検定DG : 1.47kg
 体高 : 156.2cm

体型面も良好!

美津照重
 黒高2050(83.3)
 (宮崎・小林)

ひろひめ
 黒2404006(82.8)
 (大分・竹田)

種雄牛「繁百合」の半きょうだい
 高能力母牛「ひろひめ」から造成

さち てる しげ

幸照茂

美津照
 黒13162(81.0)
 (鳥取・東伯)

いつみ
 黒原1159970(80.2)
 (宮崎・小林)

百合茂
 黒原4086(88.8)
 (鹿児島・薩摩)

ひろえの2
 黒原1460781(81.1)
 (鹿児島・薩摩)

美津福 谷福土井

きくつるみ2 照長土井

美津福 谷福土井

よしこ6 糸秀

平茂勝 第20平茂

しらゆり 神高福

安福久 安福165の9

ひろえ 平茂勝

〇ゲノム育種価順位(R7.2.1時点)

形質	枝肉重量	ローズ芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS No.
順位	7	3	22	78	7	10

※歴代の県有種雄牛および現場後代検定指定交配を開始した待機種雄牛100頭中の順位
 ※ゲノム育種価は(独)家畜改良センターで算出(他所の評価値とは比較不可)

〇現場後代検定成績: 17頭中7頭がBMS No.12

性別	頭数	枝肉重量	歩留基準値	バラ厚	皮下脂肪	歩留基準値	BMS No.
去勢	9	520.6	81.2	8.9	3.1	76.6	10.0
雌	8	471.9	87.6	8.9	3.3	77.9	10.5

※赤字は県有種雄牛歴代一位

去勢 母: 美国桜-安福久-平茂勝

去勢 母: 百合茂-安福久-平茂勝

去勢 母: 諒太郎-福之國-安平



枝重520.3kg、ローズ芯106cm²
 バラ9.6cm、皮下脂肪2.5cm
 歩留基準値80.9、A5-12



枝重495.1kg、ローズ芯97cm²
 バラ8.8cm、皮下脂肪2.7cm
 歩留基準値79.3、A5-12



枝重573.1kg、ローズ芯97cm²
 バラ10.3cm、皮下脂肪3.8cm
 歩留基準値78.4、A5-12

大分県畜産技術室・農林水産研究指導センター畜産研究部

(資料5)

大分の畜産物ブランド



おおいた和牛

百年の志み
おおいた和牛

幾度となく日本一に輝いてきた豊後牛の歴史が始まって百年目の節目に、新しい県産和牛ブランド「おおいた和牛」が誕生しました。「おおいた和牛」は、品質の高い豊後牛の中でも美味しさにこだわった農場で育てられた肉質4等級以上のものだけを選んだ逸品です。

おおいた和牛の認定基準

おおいた豊後牛のうち

- 1 上位等級(肉質4等級以上)による品質確保
- 2 美味しさにこだわった生産農場による顔が見える牛づくり
- 3 美味しさにこだわった生産農場で取り組む美味しさの追求(米やビール粕などの給与)



米の恵み

飼料総量に対して10%以上の米を配合した飼料を肥育後期に与えて育った豚肉です。脂肪中のオレイン酸含有率を測定しており、オレイン酸を多く含んだ豚肉は、一般的な豚肉と比較して、甘みとクセのない香りが特長。また脂肪融点が低く舌触りもなめらかだといわれています。



おおいた冠地どり

日本初の烏骨鶏をかけあわせて生まれた「おおいた冠地どり」は、肉質のやわらかさと、ずば抜けたうま味(イノシン酸214.0mg/100g)を誇る大分県のブランド地鶏です。



豊のしゃも

シャモの素質を50%持ち、肉質は脂肪が少なく、締りがあり、シャモ独特のコクとうま味があります。他の地鶏と比べて飼養日数が長く、噛めば噛むほど肉本来の旨みが味わえます。

いい日、
いい肉、
おおいた和牛。



大分の畜産2024
令和7年3月発行



過去の『大分の畜産』はこちら

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/15450/oitanotikusan.html>